

輸血療法に関する調査

Hiroshima 2012

< 単純集計 (N=68) ver.1 >

2013年2月21日時点

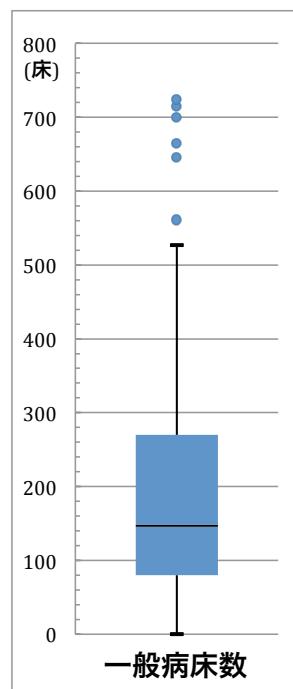
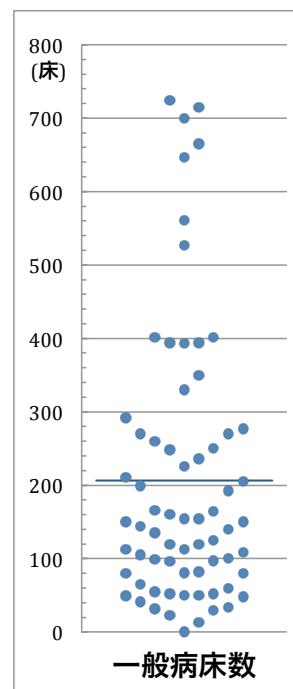
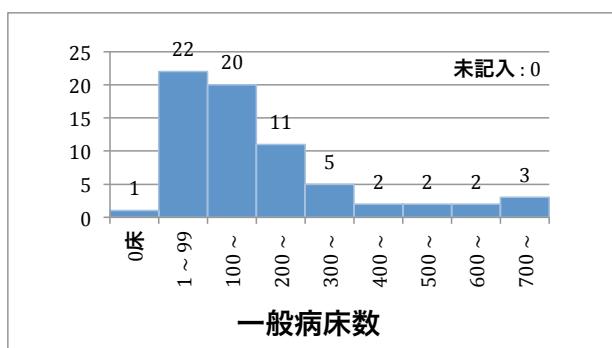
1. 貴院の概要について

1-a. 病床数

1-a-1. 一般病床数

N=68		
病床数	度数	割合
0床	1	1.5%
1～99	22	32.4%
100～299	31	45.6%
300～	14	20.6%
未記入	0	0.0%
合計	68	100.0%

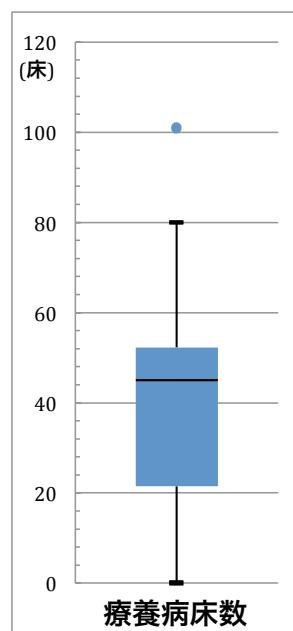
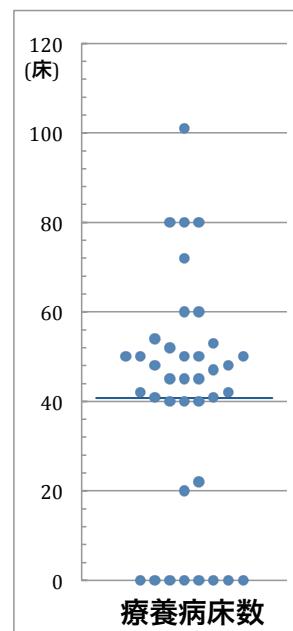
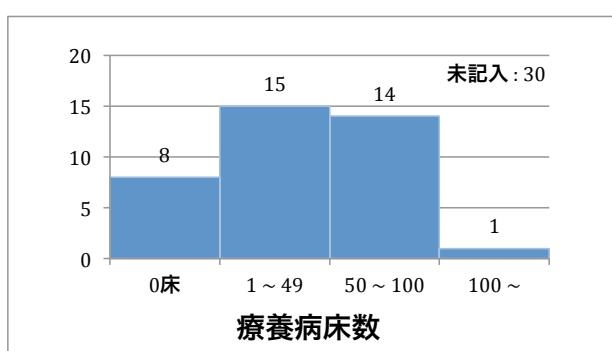
N=68	
平均病床数	中央値
206.3 ± 184.9	147.0 [80.0 - 270.0]



1-a-2. 療養病床数

N=68		
病床数	度数	割合
0床	8	11.8%
1～49	15	22.1%
50～100	14	20.6%
100～	1	1.5%
未記入	30	44.1%
合計	68	100.0%

N=38	
平均病床数	中央値
40.7 ± 26.1	45.0 [21.5 - 52.3]

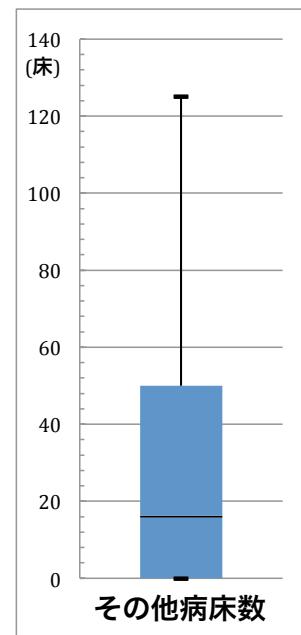
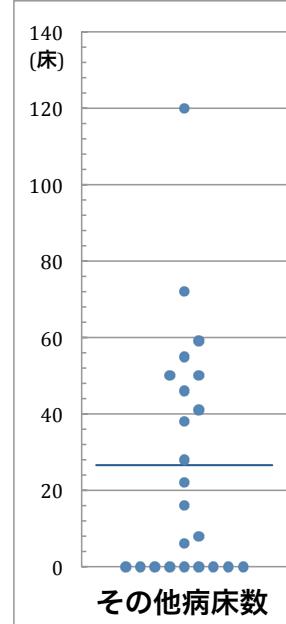
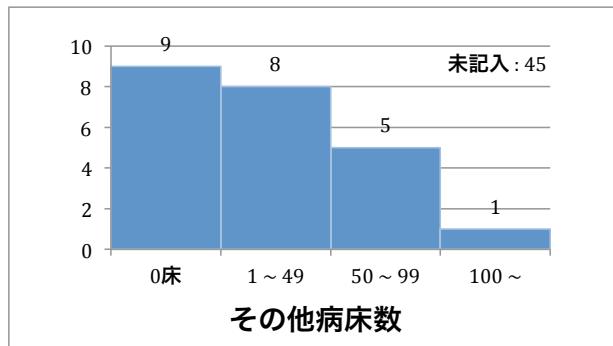


1-a-3. その他病床数

N=68

病床数	度数	割合
0床	9	13.2%
1～49	8	11.8%
50～99	5	7.4%
100～	1	1.5%
未記入	45	66.2%
合計	68	100.0%

平均病床数	中央値
26.6 ± 31.4	16.0 [0.0 - 50.0]

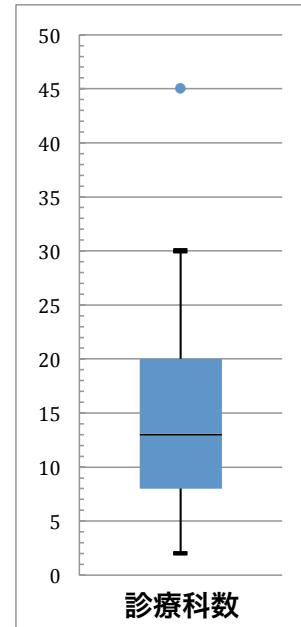
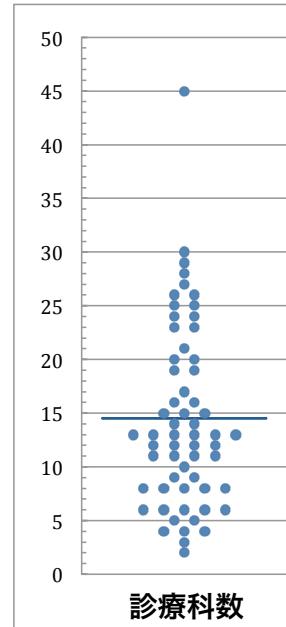
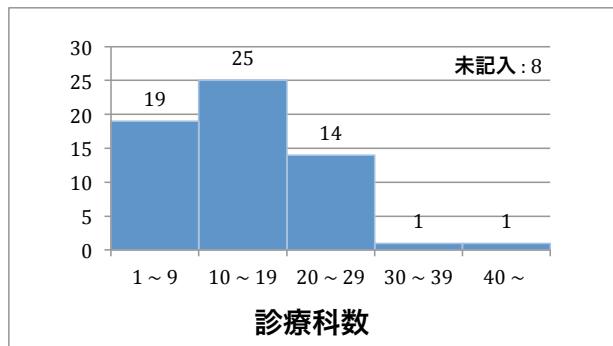


1-b. 診療科数

N=68

診療科数	度数	割合
1～9	19	27.9%
10～19	25	36.8%
20～29	14	20.6%
30～	2	2.9%
未記入	8	11.8%
合計	68	100.0%

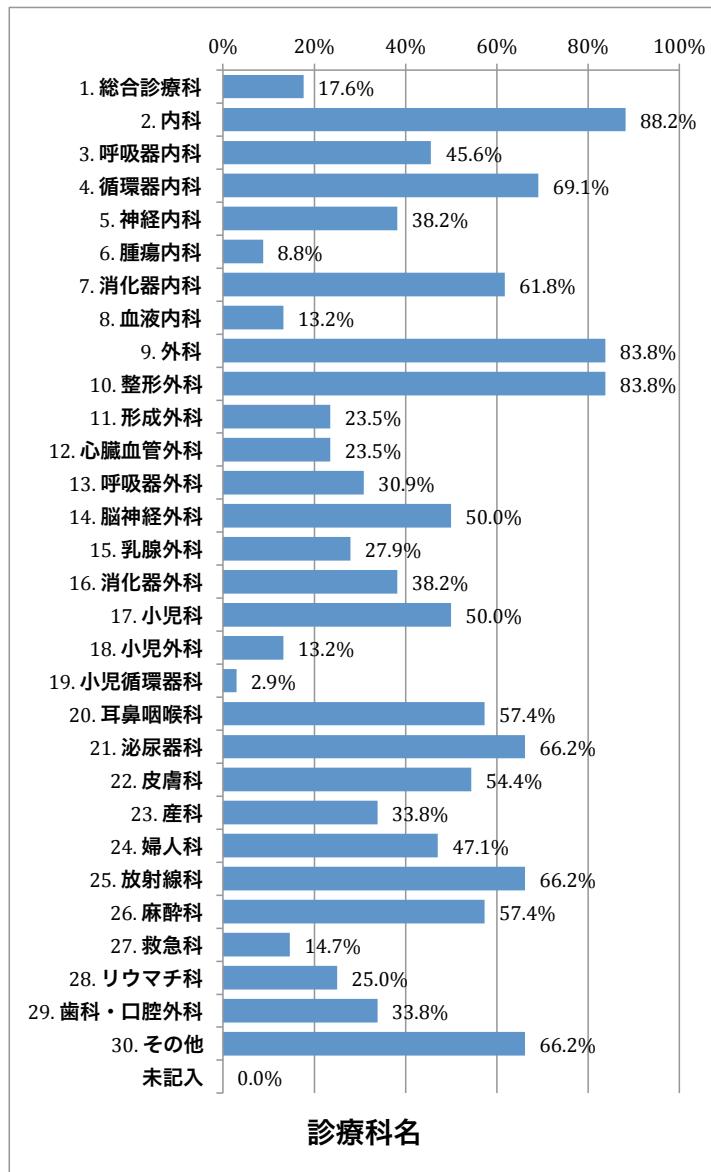
平均診療科数	中央値
14.5 ± 8.5	13.0 [8.0 - 20.0]



1-c. 診療科名(複数回答)

N=68

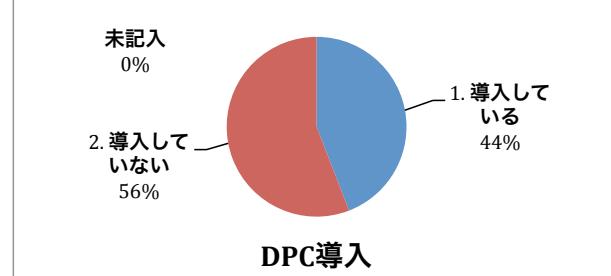
水準	度数	N=68に占める割合
1. 総合診療科	12	17.6%
2. 内科	60	88.2%
3. 呼吸器内科	31	45.6%
4. 循環器内科	47	69.1%
5. 神経内科	26	38.2%
6. 腫瘍内科	6	8.8%
7. 消化器内科	42	61.8%
8. 血液内科	9	13.2%
9. 外科	57	83.8%
10. 整形外科	57	83.8%
11. 形成外科	16	23.5%
12. 心臓血管外科	16	23.5%
13. 呼吸器外科	21	30.9%
14. 脳神経外科	34	50.0%
15. 乳腺外科	19	27.9%
16. 消化器外科	26	38.2%
17. 小児科	34	50.0%
18. 小児外科	9	13.2%
19. 小児循環器科	2	2.9%
20. 耳鼻咽喉科	39	57.4%
21. 泌尿器科	45	66.2%
22. 皮膚科	37	54.4%
23. 産科	23	33.8%
24. 婦人科	32	47.1%
25. 放射線科	45	66.2%
26. 麻酔科	39	57.4%
27. 救急科	10	14.7%
28. リウマチ科	17	25.0%
29. 歯科・口腔外科	23	33.8%
30. その他	45	66.2%
未記入	0	0.0%



1-d. DPCを導入しているか

N=68

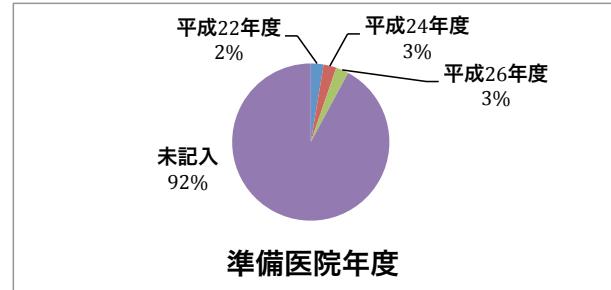
水準	度数	割合
1. 導入している	30	44.1%
2. 導入していない	38	55.9%
未記入	0	0.0%
合計	68	100.0%



以下[1-d]で「2. 導入していない」(N=38)の回答

準備医院年度 N=38

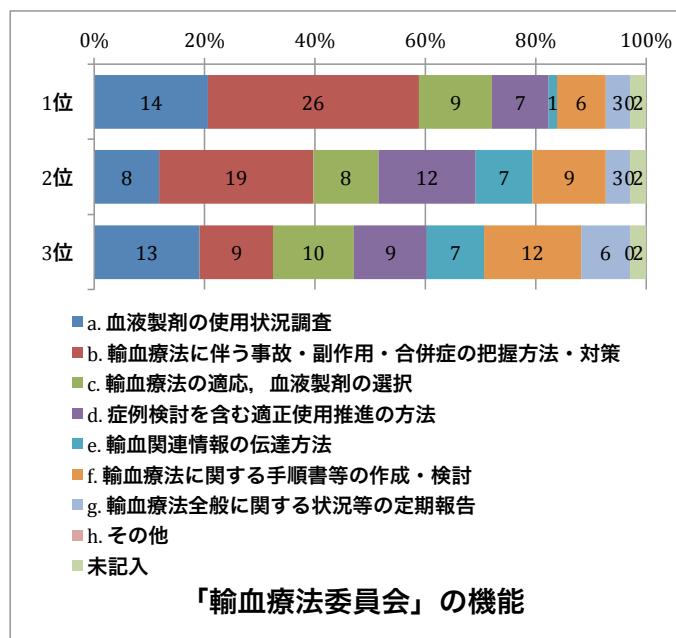
水準	度数	割合
平成22年度	1	2.6%
平成24年度	1	2.6%
平成26年度	1	2.6%
未記入	35	92.1%
合計	38	100.0%



2. 輸血療法委員会について

2-a. 「輸血療法委員会」の機能 N=68

水準	1位	2位	3位
a. 血液製剤の使用状況調査	14	8	13
b. 輸血療法に伴う事故・副作用・合併症の把握方法・対策	26	19	9
c. 輸血療法の適応、血液製剤の選択	9	8	10
d. 症例検討を含む適正使用推進の方法	7	12	9
e. 輸血関連情報の伝達方法	1	7	7
f. 輸血療法に関する手順書等の作成・検討	6	9	12
g. 輸血療法全般に関する状況等の定期報告	3	3	6
h. その他	0	0	0
未記入	2	2	2
合計	68	68	68



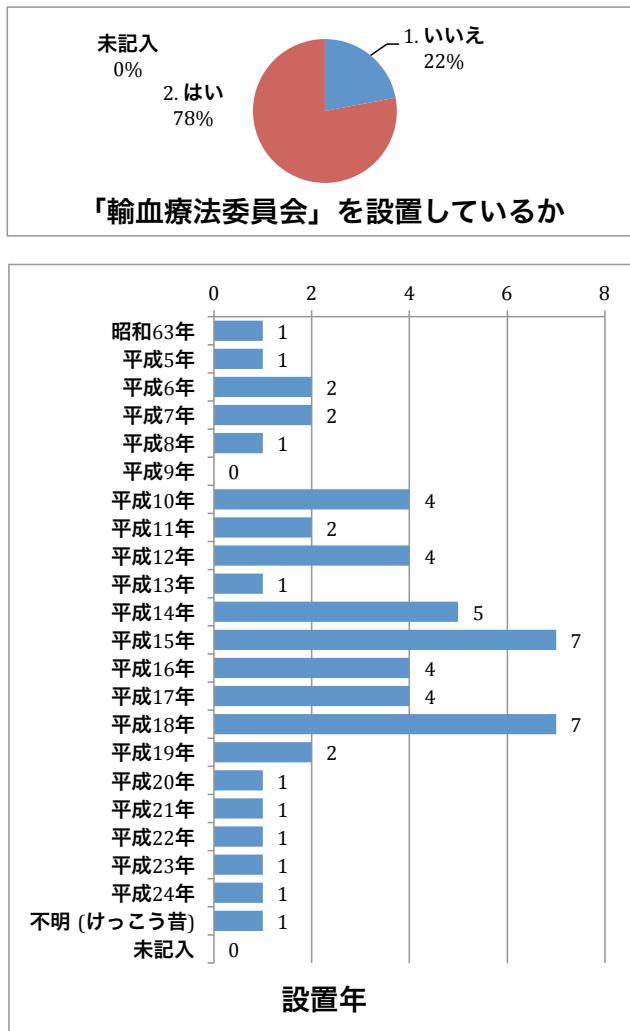
2-b. 「輸血療法委員会」を設置しているか N=68

水準	度数	割合
1. いいえ	15	22.1%
2. はい	53	77.9%
未記入	0	0.0%
合計	68	100.0%

以下[2-b]で「2. はい」(N=53)の回答

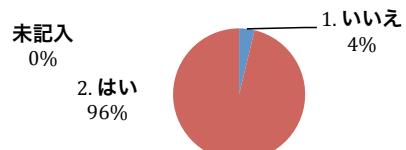
2-b-1. 設置年 N=53

水準	度数	割合
昭和63年	1	1.9%
平成5年	1	1.9%
平成6年	2	3.8%
平成7年	2	3.8%
平成8年	1	1.9%
平成9年	0	0.0%
平成10年	4	7.5%
平成11年	2	3.8%
平成12年	4	7.5%
平成13年	1	1.9%
平成14年	5	9.4%
平成15年	7	13.2%
平成16年	4	7.5%
平成17年	4	7.5%
平成18年	7	13.2%
平成19年	2	3.8%
平成20年	1	1.9%
平成21年	1	1.9%
平成22年	1	1.9%
平成23年	1	1.9%
平成24年	1	1.9%
不明(けっこう昔)	1	1.9%
未記入	0	0.0%
合計	53	100.0%



2-b-2. 規定・規約を作成しているか N=53

水準	度数	割合
1. いいえ	2	3.8%
2. はい	51	96.2%
未記入	0	0.0%
合計	53	100.0%



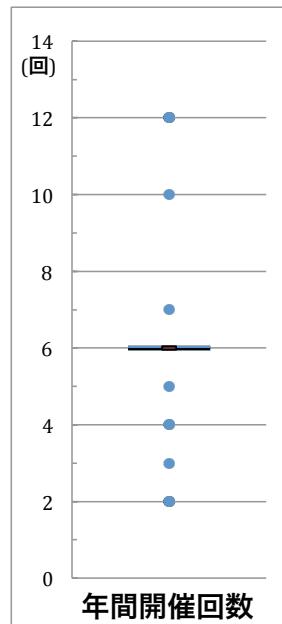
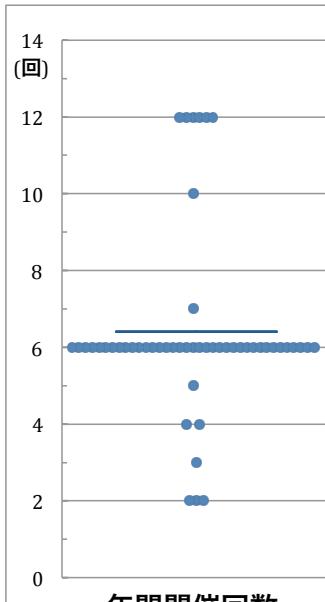
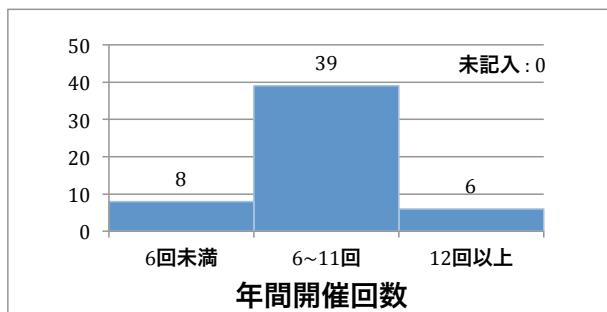
規定・規約を作成しているか

2-b-3. 年間開催回数 N=53

開催回数	度数	割合
6回未満	8	15.1%
6~11回	39	73.6%
12回以上	6	11.3%
未記入	0	0.0%
合計	53	100.0%

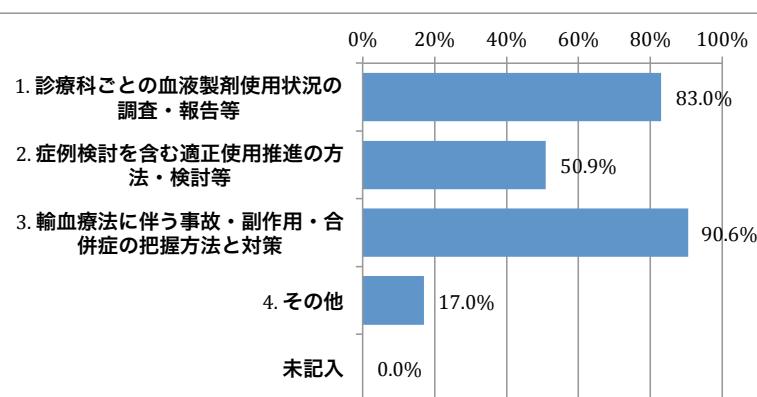
N=52

平均開催回数	中央値
6.4 ± 2.4	6.0 [6.0 - 6.0]



2-b-4. 討論する議題 (複数回答) N=53

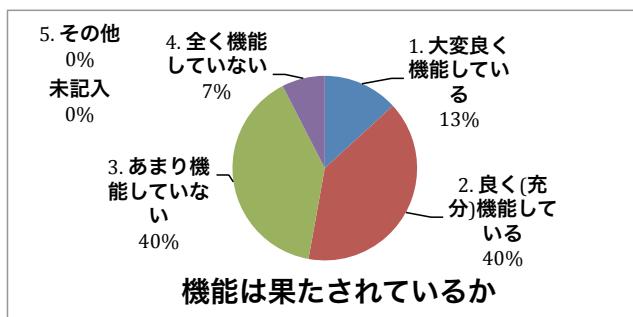
水準	度数	N=53に占める割合
1. 診療科ごとの血液製剤使用状況の調査・報告等	44	83.0%
2. 症例検討を含む適正使用推進の方法・検討等	27	50.9%
3. 輸血療法に伴う事故・副作用・合併症の把握方法と対策	48	90.6%
4. その他	9	17.0%
未記入	0	0.0%



討論する議題

2-b-5. 「輸血療法委員会」の機能は果たされているか N=53

水準	度数	割合
1. 大変良く機能している	7	13.2%
2. 良く(充分)機能している	21	39.6%
3. あまり機能していない	21	39.6%
4. 全く機能していない	4	7.5%
5. その他	0	0.0%
未記入	0	0.0%
合計	53	100.0%



機能は果たされているか

3. 現時点の輸血の管理体制について

3-a. 「輸血責任医師」について

水準	度数	割合	N=68
1. 輸血部門において、輸血業務全般に関する責任者として専任の常勤医師を輸血責任医師として任命している	3	4.4%	
2. 輸血部門において、輸血業務全般に責任を有する常勤医師を、輸血責任医師として任命している	44	64.7%	
3. 輸血責任医師は任命していない	21	30.9%	
未記入	0	0.0%	
合計	68	100.0%	

輸血責任医師を任命しているか	度数	割合	N=68
任命している	47	69.1%	
任命していない	21	30.9%	
未記入	0	0.0%	
合計	68	100.0%	

3-b. 輸血部門を設置し、輸血用血液製剤の管理を行っているか

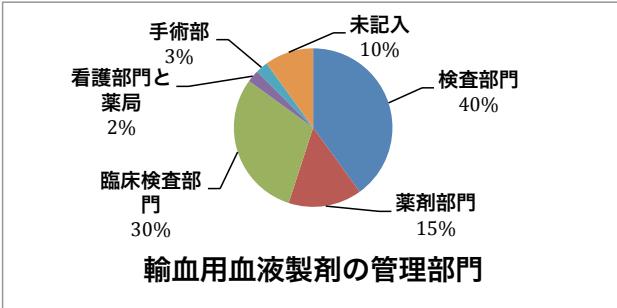
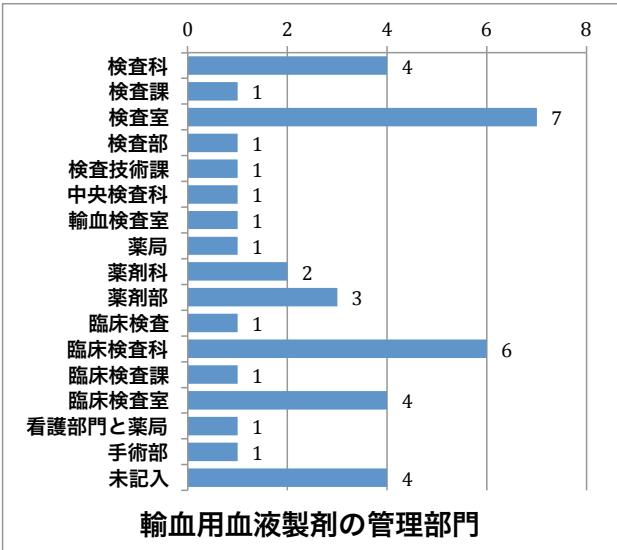
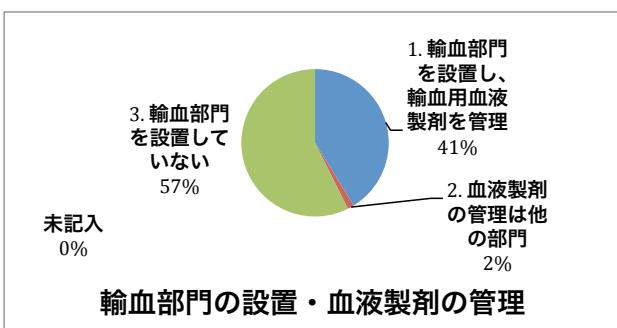
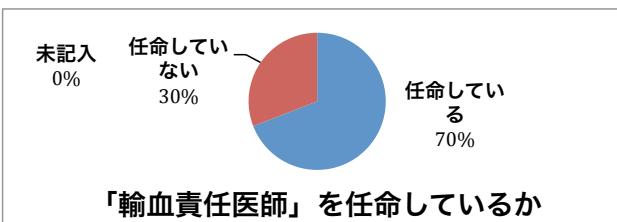
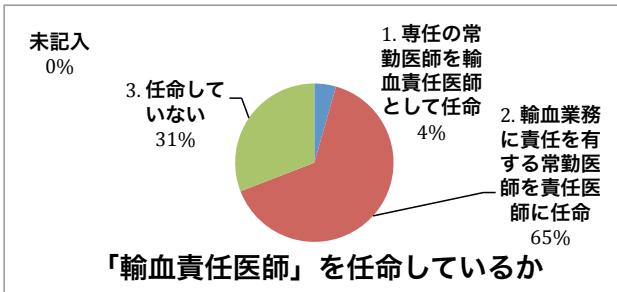
水準	度数	割合	N=68
1. 輸血部門を設置し、輸血用血液製剤の管理を行っている	28	41.2%	
2. 輸血部門を設置しているが、輸血用血液製剤の管理は他の部門で行っている	1	1.5%	
3. 輸血部門を設置していない	39	57.4%	
未記入	0	0.0%	
合計	68	100.0%	

以下[3-b]で「2. 輸血部門を設置しているが、輸血用血液製剤の管理は他の部門で行っている」

もしくは「3. 輸血部門を設置していない」(N=40)の回答

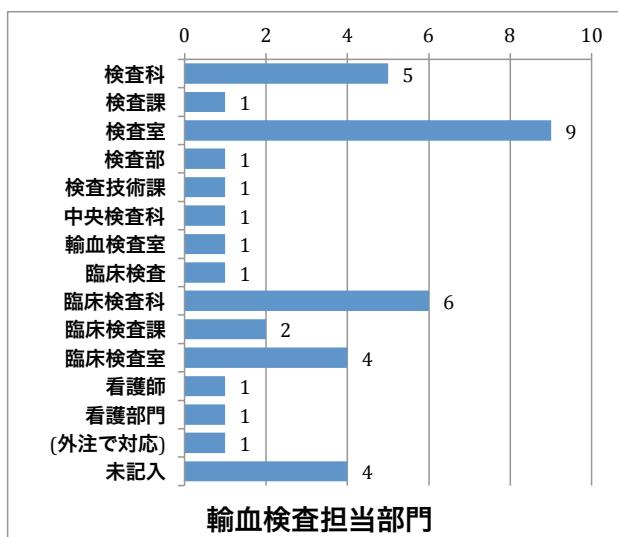
輸血用血液製剤の管理部門			N=40
水準	度数	割合	
検査科	4	10.0%	
検査課	1	2.5%	
検査室	7	17.5%	
検査部	1	2.5%	
検査技術課	1	2.5%	
中央検査科	1	2.5%	
輸血検査室	1	2.5%	
薬局	1	2.5%	
薬剤科	2	5.0%	
薬剤部	3	7.5%	
臨床検査	1	2.5%	
臨床検査科	6	15.0%	
臨床検査課	1	2.5%	
臨床検査室	4	10.0%	
看護部門と薬局	1	2.5%	
手術部	1	2.5%	
未記入	4	10.0%	
合計	40	100.0%	

水準	度数	割合	N=40
検査部門	16	40.0%	
薬剤部門	6	15.0%	
臨床検査部門	12	30.0%	
看護部門と薬局	1	2.5%	
手術部	1	2.5%	
未記入	4	10.0%	
合計	40	100.0%	

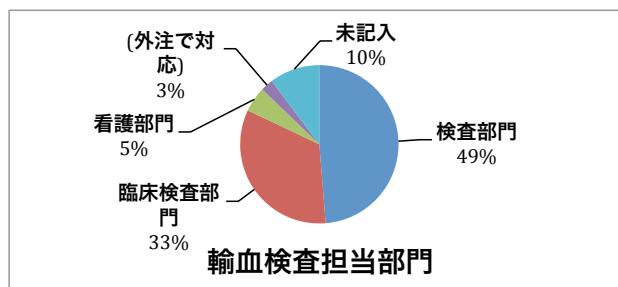


以下[3-b]で「3. 輸血部門を設置していない」(N=39)の回答

輸血検査担当部門	N=39	
水準	度数	割合
検査科	5	12.8%
検査課	1	2.6%
検査室	9	23.1%
検査部	1	2.6%
検査技術課	1	2.6%
中央検査科	1	2.6%
輸血検査室	1	2.6%
臨床検査	1	2.6%
臨床検査科	6	15.4%
臨床検査課	2	5.1%
臨床検査室	4	10.3%
看護師	1	2.6%
看護部門	1	2.6%
(外注で対応)	1	2.6%
未記入	4	10.3%
合計	39	100.0%

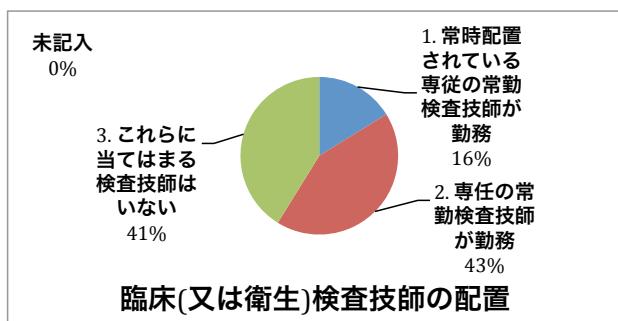


輸血検査担当部門	度数	割合	N=39
検査部門	19	48.7%	
臨床検査部門	13	33.3%	
看護部門	2	5.1%	
(外注で対応)	1	2.6%	
未記入	4	10.3%	
合計	39	100.0%	

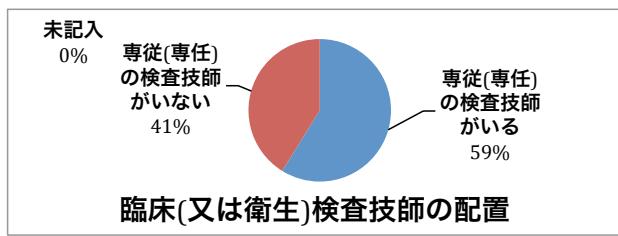


3-c. 臨床(又は衛生)検査技師の配置

水準	度数	割合	N=68
1. 輸血部門において、常時配置されている専従の常勤検査技師が1名以上勤務している	11	16.2%	
2. 輸血部門において、専任の常勤検査技師が1名以上勤務している	29	42.6%	
3. これらに当てはまる検査技師はない	28	41.2%	
未記入	0	0.0%	
合計	68	100.0%	

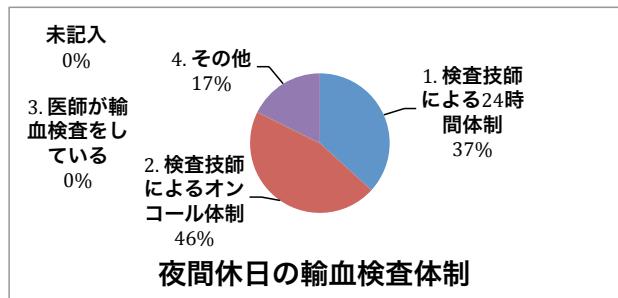


臨床検査技師の配置	度数	割合	N=68
専従(専任)の検査技師がいる	40	58.8%	
専従(専任)の検査技師がない	28	41.2%	
未記入	0	0.0%	
合計	68	100.0%	



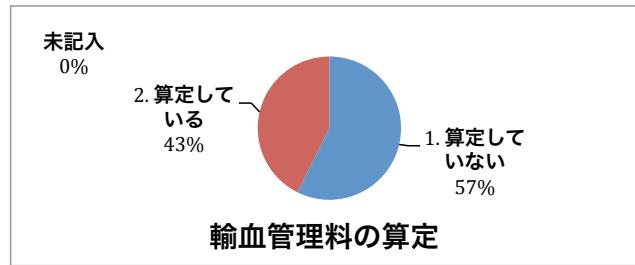
3-d. 夜間休日の輸血検査体制

水準	度数	割合	N=68
1. 検査技師による輸血検査の24時間体制を実施している	25	36.8%	
2. 検査技師によるオンコール体制で輸血検査を実施している	31	45.6%	
3. 医師が輸血検査をしている	0	0.0%	
その他	12	17.6%	
未記入	0	0.0%	
合計	68	100.0%	



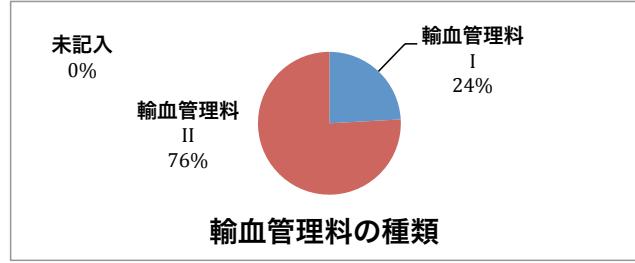
4. 輸血管理料について

4-a. 輸血管理料の算定をしているか N=68		
水準	度数	割合
1. 算定していない	39	57.4%
2. 算定している	29	42.6%
未記入	0	0.0%
合計	68	100.0%



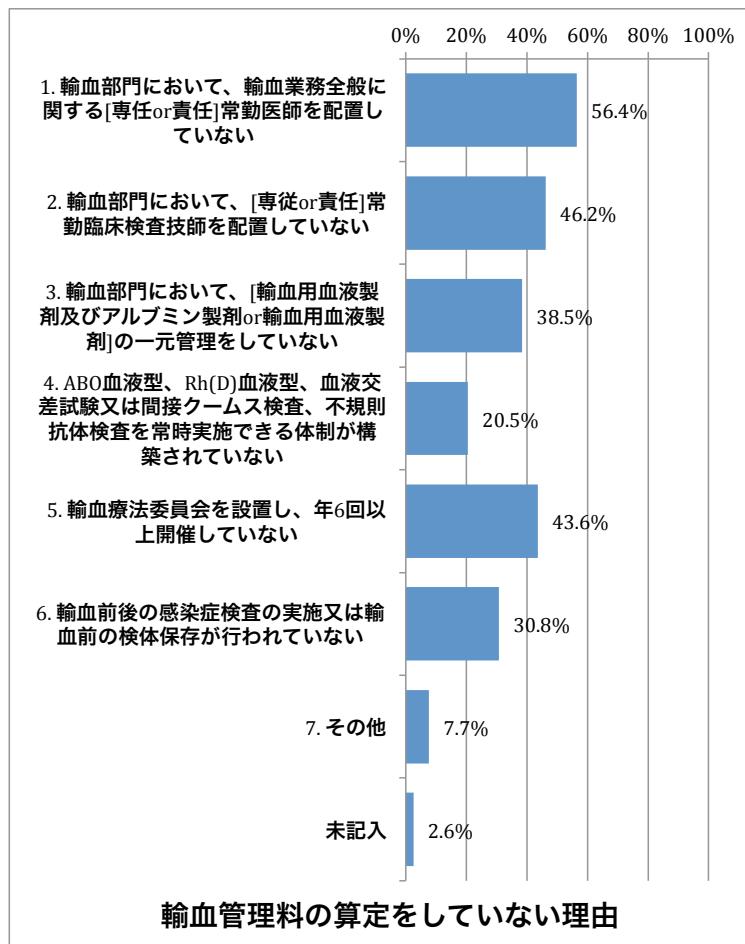
以下[4-aで「2. 算定している」(N=29)] の回答

輸血管理料の種類 N=29		
水準	度数	割合
輸血管理料 I	7	24.1%
輸血管理料 II	22	75.9%
未記入	0	0.0%
合計	29	100.0%



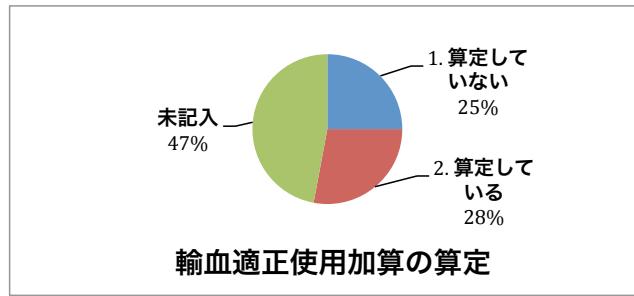
以下[4-aで「1. 算定していない」(N=39)] の回答

4-a-1. 算定していない理由 (複数回答) N=39		
水準	度数	N=39に占める割合
1. 輸血部門において、輸血業務全般に関する[専任or責任]常勤医師を配置していない	22	56.4%
2. 輸血部門において、[専従or責任]常勤臨床検査技師を配置していない	18	46.2%
3. 輸血部門において、[輸血用血液製剤及びアルブミン製剤or輸血用血液製剤]の一元管理をしていない	15	38.5%
4. ABO血液型、Rh(D)血液型、血液交差試験又は間接クームス検査、不規則抗体検査を常時実施できる体制が構築されていない	8	20.5%
5. 輸血療法委員会を設置し、年6回以上開催していない	17	43.6%
6. 輸血前後の感染症検査の実施又は輸血前の検体保存が行われていない	12	30.8%
7. その他	3	7.7%
未記入	1	2.6%



4-b. 輸血適正使用加算の算定もしているか

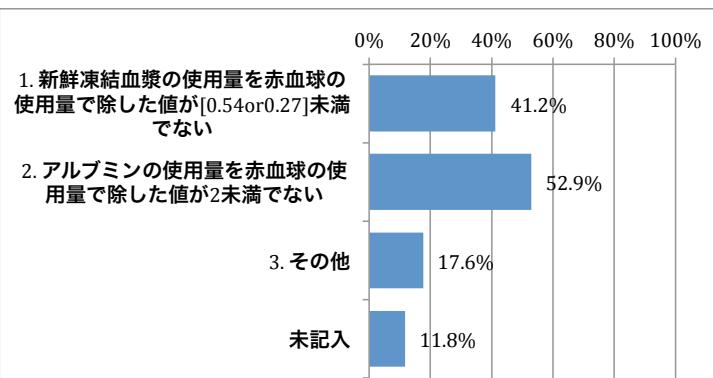
水準	度数	割合
1. 算定していない	17	25.0%
2. 算定している	19	27.9%
未記入	32	47.1%
合計	68	100.0%



以下[4-b]で「1. 算定していない」(N=17)の回答

4-a-1. 算定をしていない理由 (複数回答) N=17

水準	度数	N=17に占める割合
1. 新鮮凍結血漿の使用量を赤血球の使用量で除した値が[0.54or0.27]未満でない	7	41.2%
2. アルブミンの使用量を赤血球の使用量で除した値が2未満でない	9	52.9%
3. その他	3	17.6%
未記入	2	11.8%



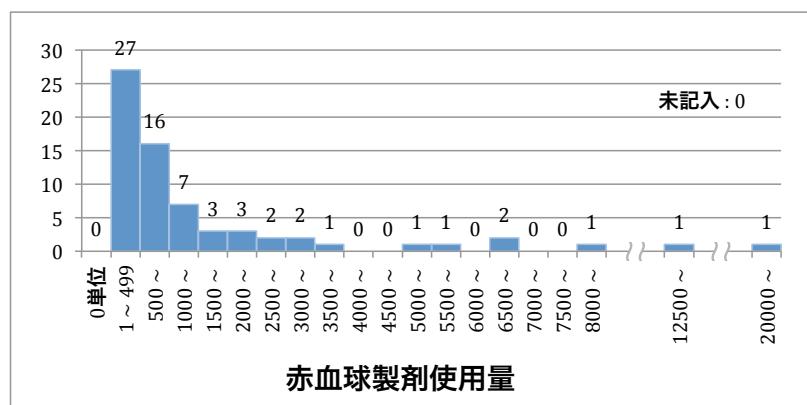
輸血適正使用加算の算定をしていない理由

5. 血液製剤の使用について

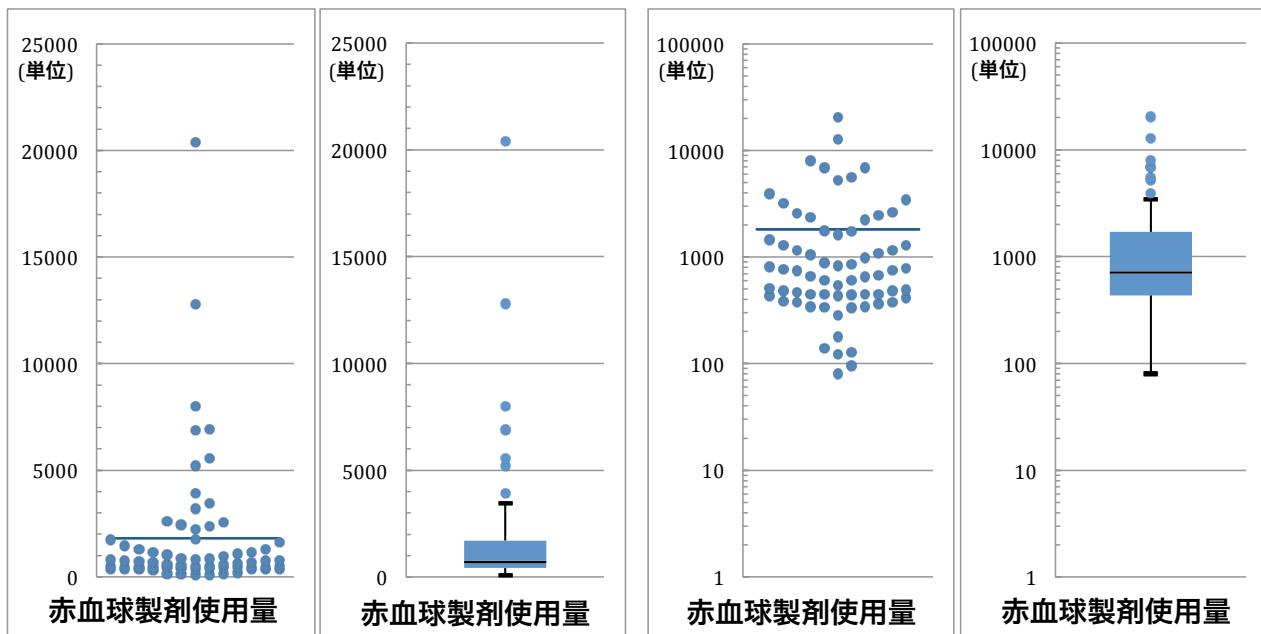
5-a. 平成23年(又は平成23年度)の血液製剤使用量

5-a-1. 赤血球製剤

使用量	度数	割合
0単位	0	0.0%
1～499	27	39.7%
500～999	16	23.5%
1000～4999	18	26.5%
5000～9999	5	7.4%
10000～	2	2.9%
未記入	0	0.0%
合計	68	100.0%

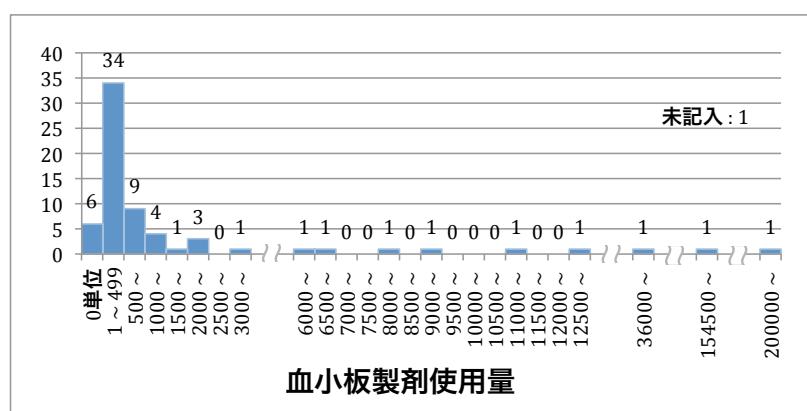


平均使用量(単位)	中央値
1809.3 ± 3167.8	711.5 [433.3 - 1707.5]

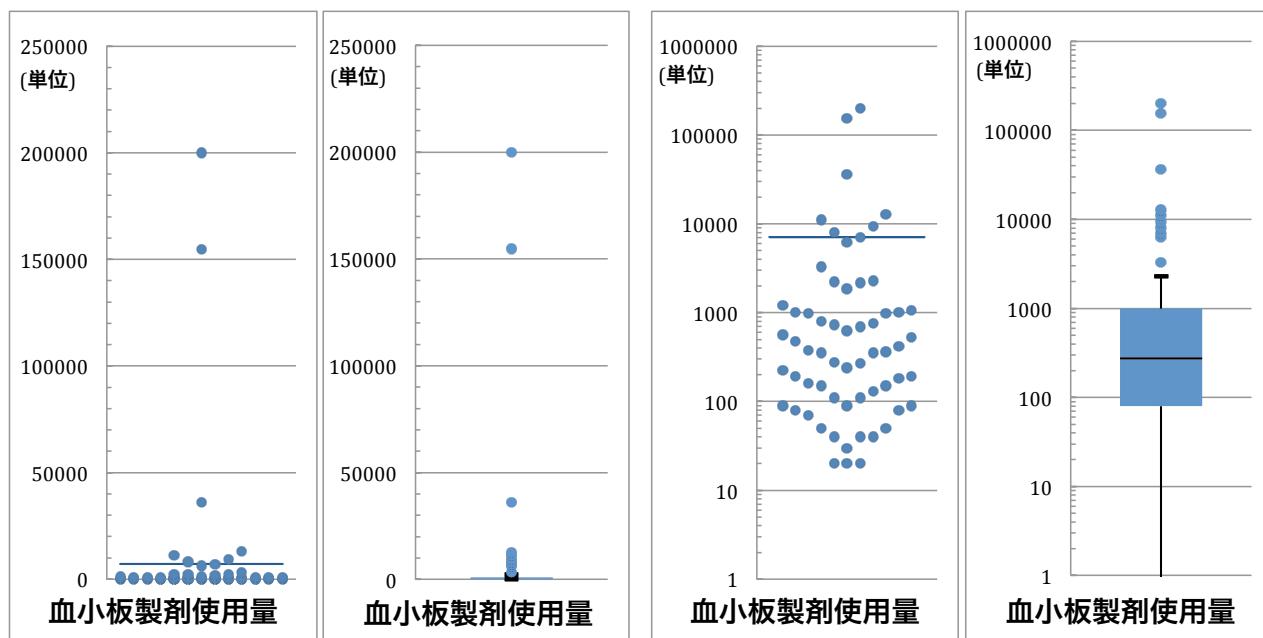


5-a-2. 血小板製剤

使用量	度数	割合
0単位	6	8.8%
1～499	34	50.0%
500～999	9	13.2%
1000～4999	9	13.2%
5000～9999	4	5.9%
10000～	5	7.4%
未記入	1	1.5%
合計	68	100.0%

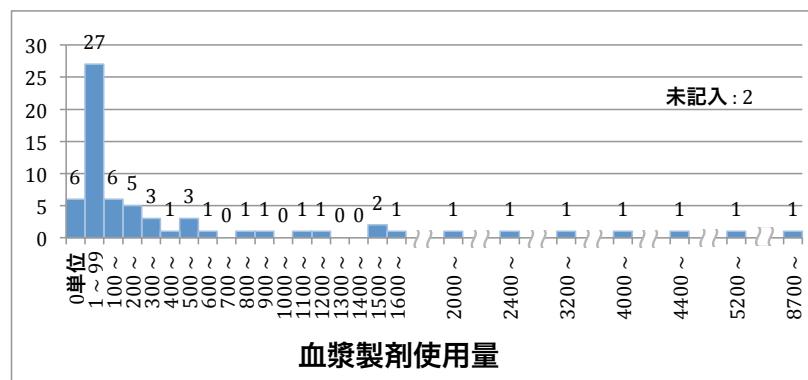


N=67	
平均使用量(単位)	中央値
7067.4 ± 30755.2	275.0 [80.0 - 1000.0]

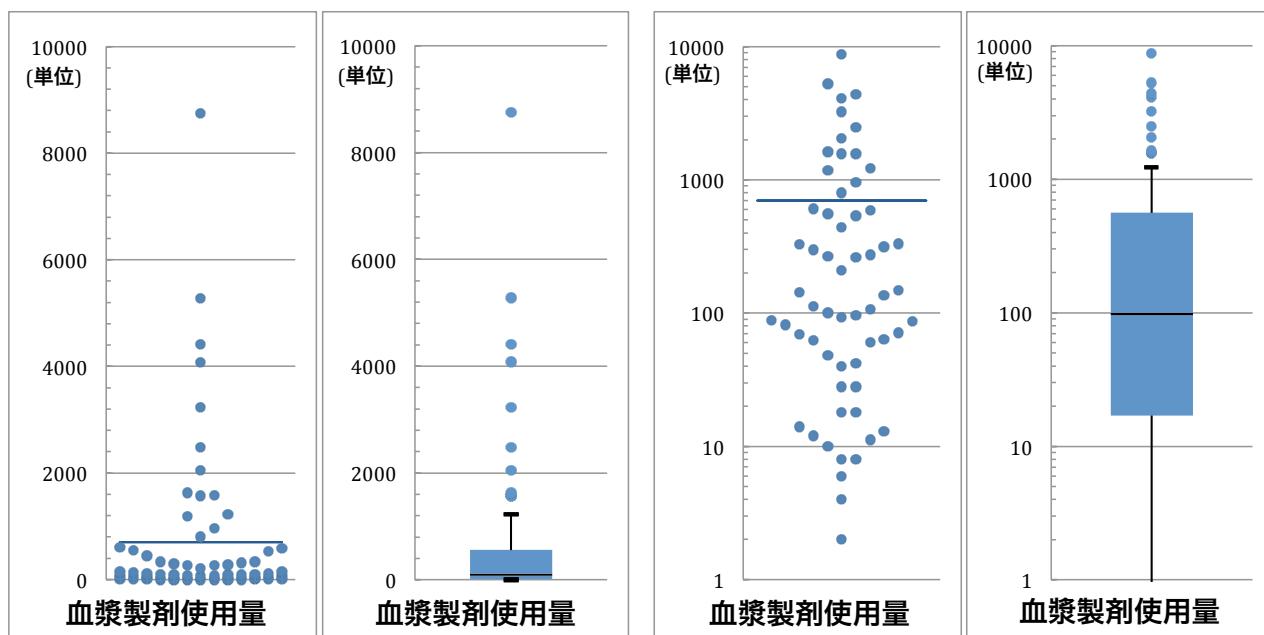


5-a-3. 血漿製剤

使用量	度数	割合
0単位	6	8.8%
1～99	27	39.7%
100～499	15	22.1%
500～999	6	8.8%
1000～4999	10	14.7%
5000～	2	2.9%
未記入	2	2.9%
合計	68	100.0%

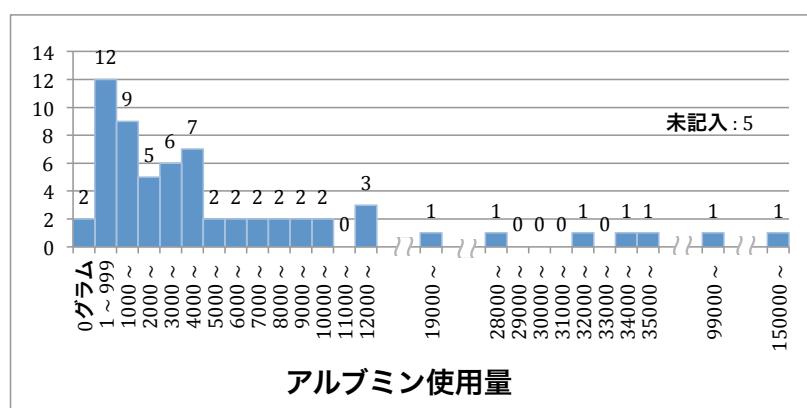


平均使用量(単位)	中央値
698.2 ± 1487.0	98.0 [17.0 - 562.5]

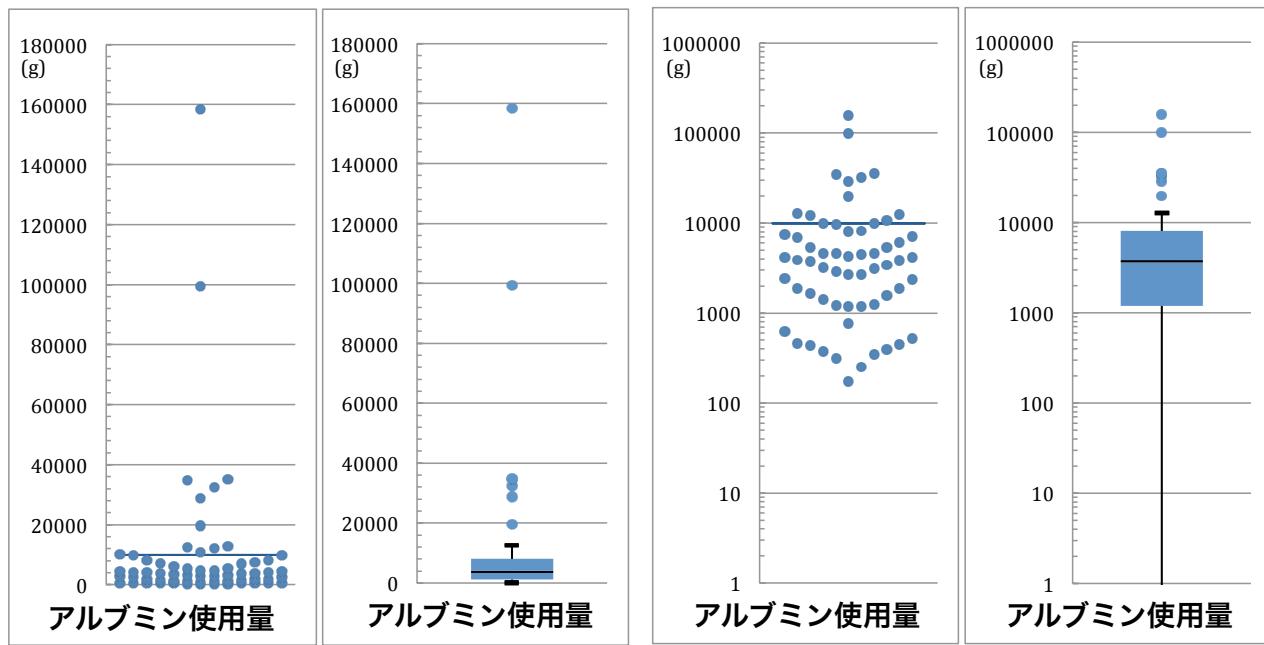


5-a-4. アルブミン

使用量	度数	割合
0グラム	2	2.9%
1 ~ 999	12	17.6%
1000 ~ 4999	27	39.7%
5000 ~ 9999	10	14.7%
10000 ~ 49999	10	14.7%
50000 ~	2	2.9%
未記入	5	7.4%
合計	68	100.0%



平均使用量(グラム)	中央値
9899.8 ± 23767.0	3725.0 [1192.0 - 8090.0]

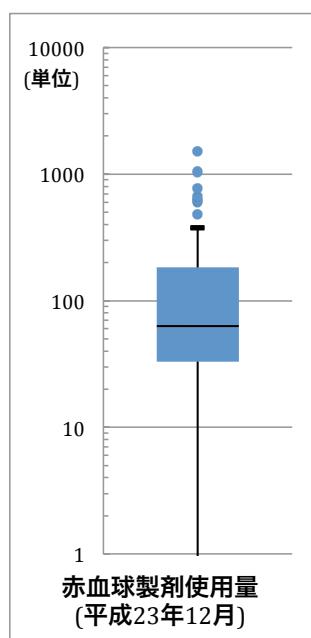
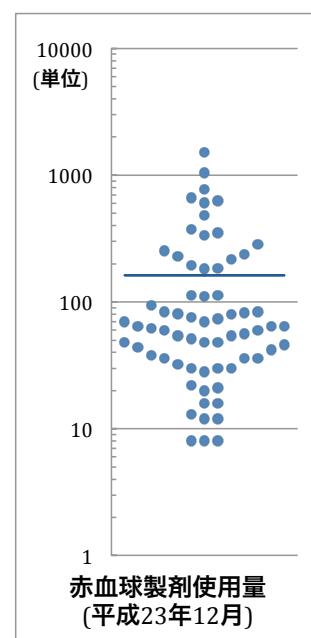
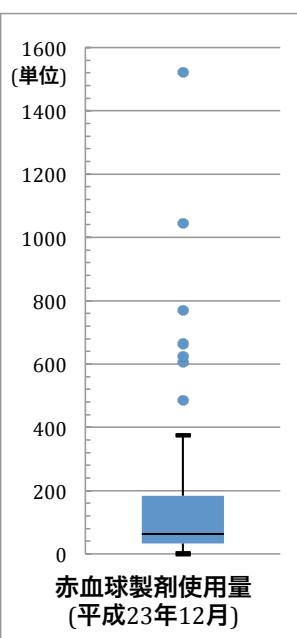
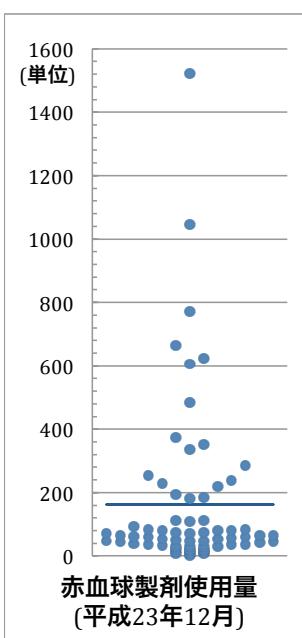
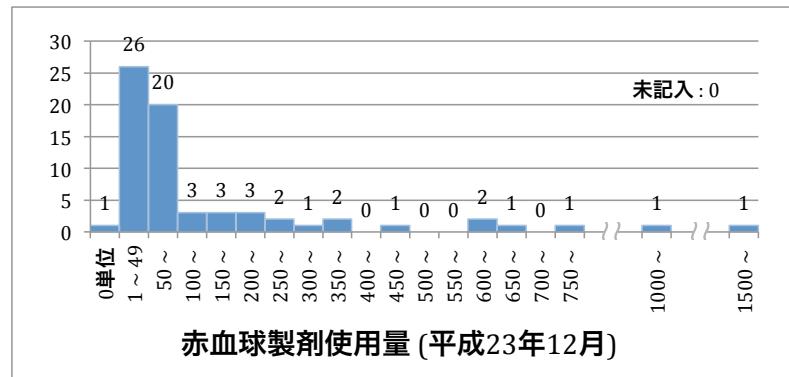


5-b. 平成23年12月の血液製剤使用量と輸血実患者数

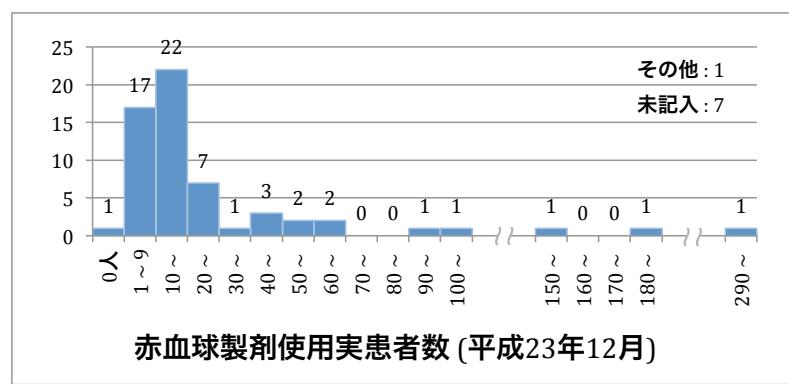
5-b-1. 赤血球製剤 (使用量)

使用量	度数	割合
0単位	1	1.5%
1-49	26	38.2%
50 ~ 99	20	29.4%
100 ~ 499	15	22.1%
500 ~ 999	4	5.9%
1000 ~	2	2.9%
未記入	0	0.0%
合計	68	100.0%

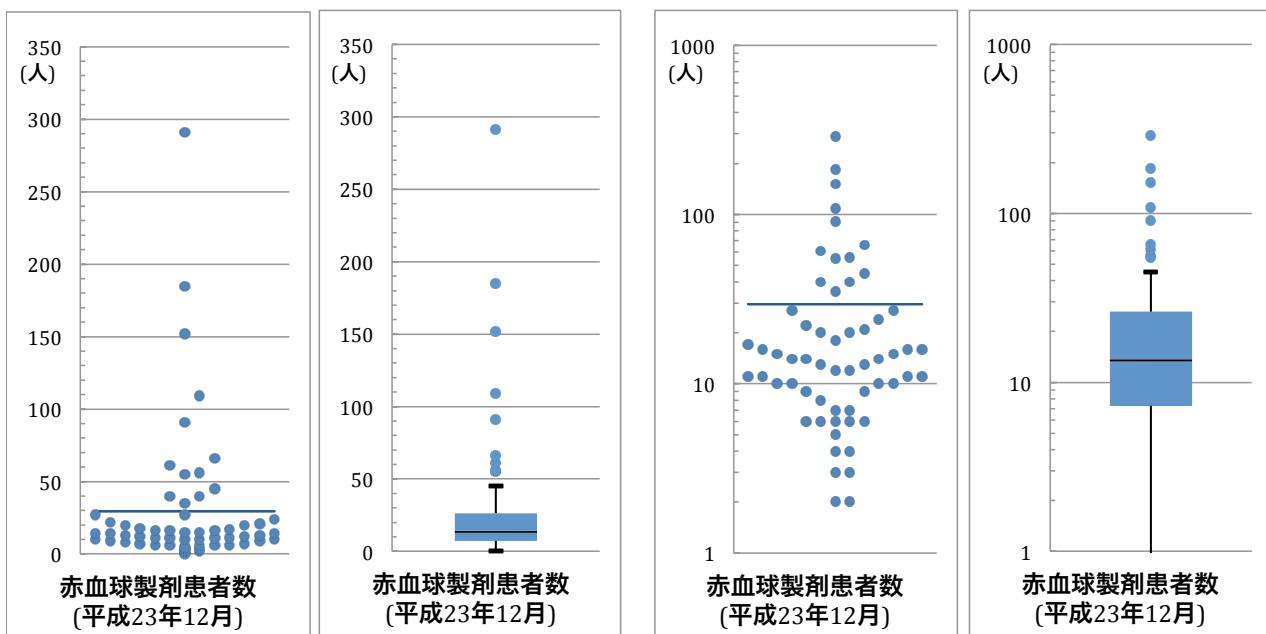
平均使用量(単位)	中央値
161.9 ± 262.0	63.0 [33.0 - 183.5]



赤血球製剤(実患者数)		
実患者数	度数	割合
0人	1	1.5%
1-9	17	25.0%
10-49	33	48.5%
50-99	5	7.4%
100-	4	5.9%
その他	1	1.5%
未記入	7	10.3%
合計	68	100.0%



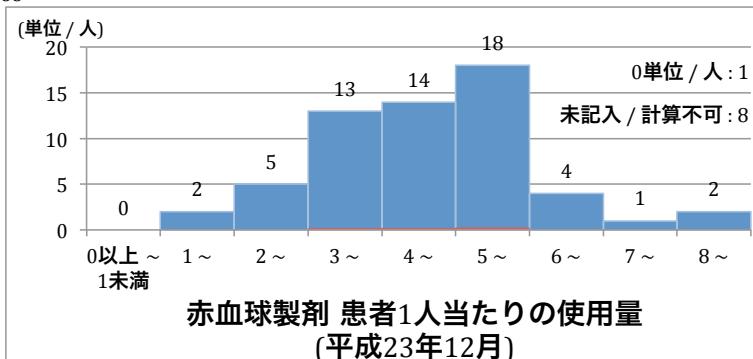
平均実患者数	中央値
29.5 ± 48.5	13.5 [7.3 - 26.3]



赤血球製剤(患者1人当たりの使用量)

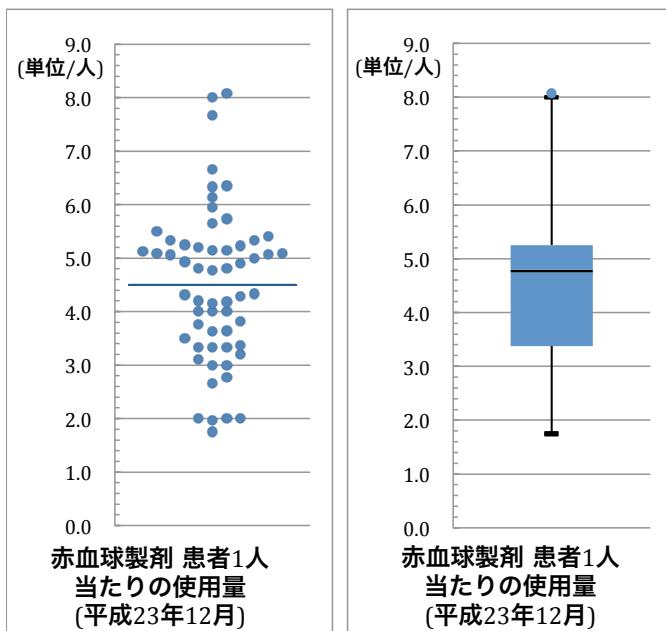
実患者数	度数	割合
0単位/人	1	1.5%
0以上～1未満	0	0.0%
1～	2	2.9%
2～	5	7.4%
3～	13	19.1%
4～	14	20.6%
5～	18	26.5%
6～	4	5.9%
7～	1	1.5%
8～	2	2.9%
未記入/計算不可	8	11.8%
合計	68	100.0%

N=68



N=59

平均使用量(単位/人)	中央値
4.5 ± 1.4	4.8 [3.4 - 5.3]

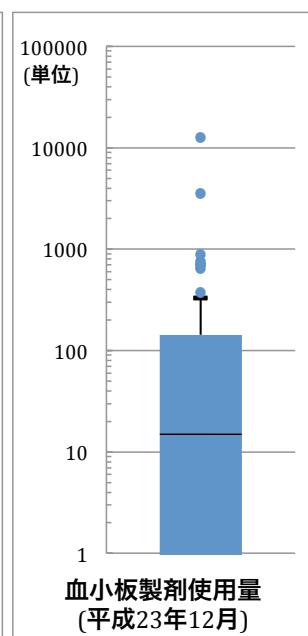
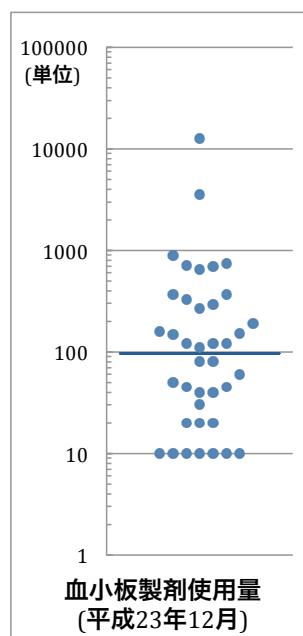
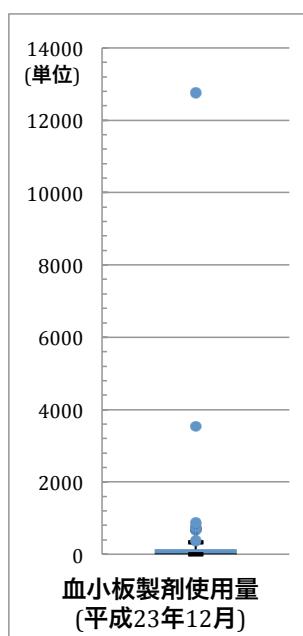
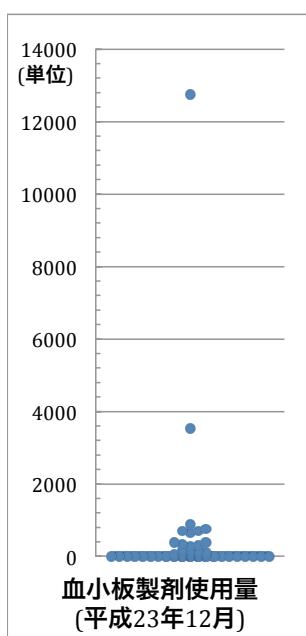
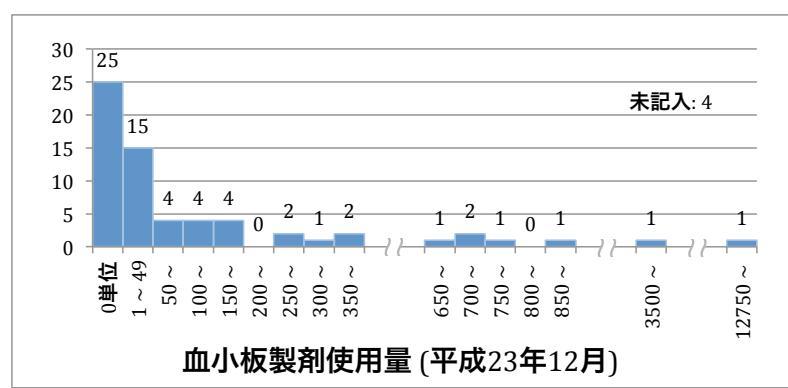


5-b-2. 血小板製剤(使用量)

N=68

使用量	度数	割合
0単位	25	36.8%
1～49	15	22.1%
50～99	4	5.9%
100～499	13	19.1%
500～999	5	7.4%
1000～	2	2.9%
未記入	4	5.9%
合計	68	100.0%

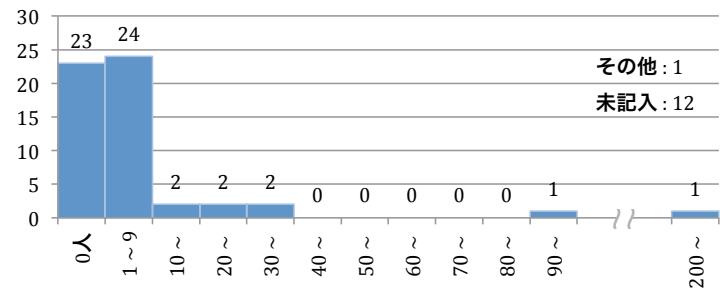
平均使用量(単位)	中央値
96.4 ± 236.1	15.0 [0.0 - 142.5]



血小板製剤(実患者数)

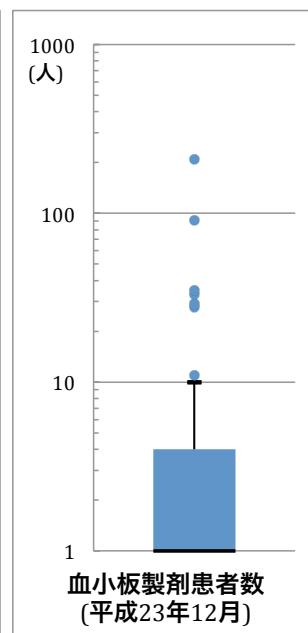
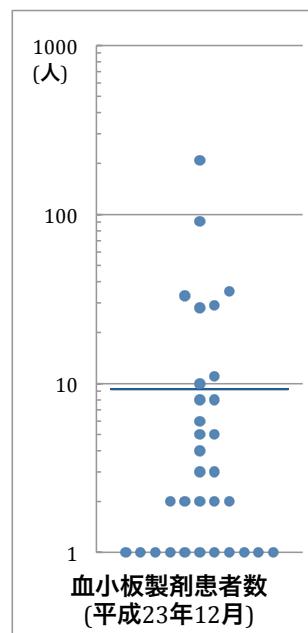
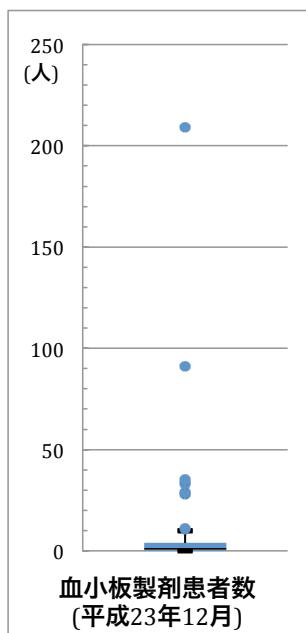
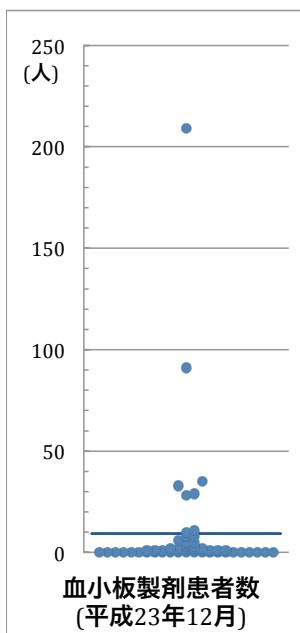
実患者数	度数	割合
0人	23	33.8%
1-4	19	27.9%
4-9	5	7.4%
10-49	6	8.8%
50-	2	2.9%
その他	1	1.5%
未記入	12	17.6%
合計	68	100.0%

N=68



N=55

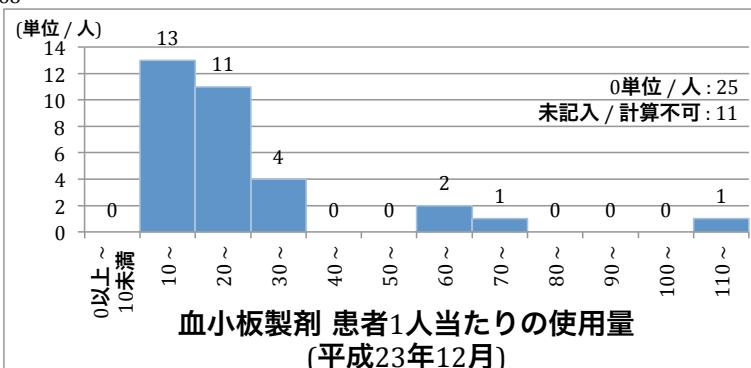
平均実患者数	中央値
9.3 ± 30.9	1.0 [0.0 - 4.0]



血小板製剤(患者1人当たりの使用量)

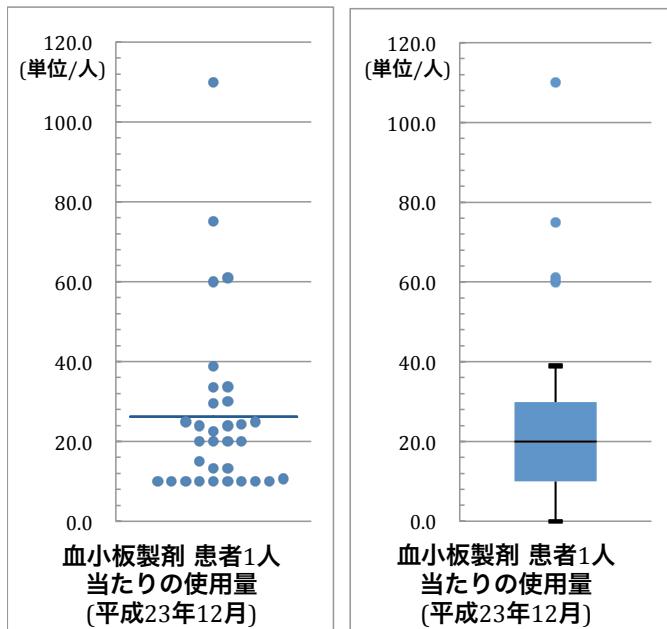
実患者数	度数	割合
0単位/人	25	36.8%
0以上～10未満	0	0.0%
10～	13	19.1%
20～	11	16.2%
30～	4	5.9%
40～	0	0.0%
50～	0	0.0%
60～	2	2.9%
70～	1	1.5%
80～	0	0.0%
90～	0	0.0%
100～	0	0.0%
110～	1	1.5%
未記入/計算不可	11	16.2%
合計	68	100.0%

N=68



N=32

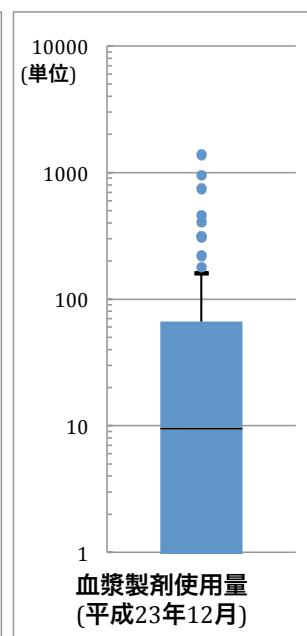
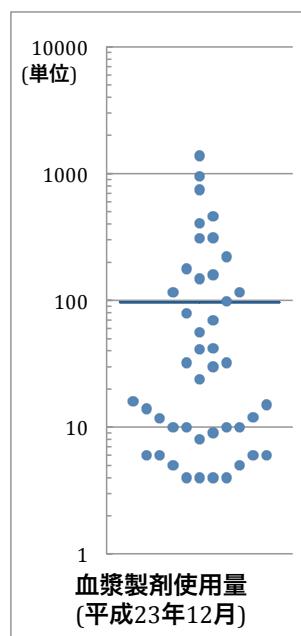
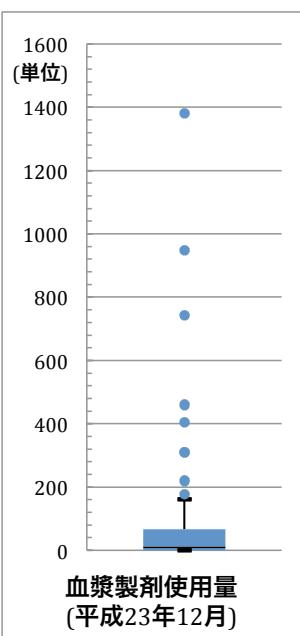
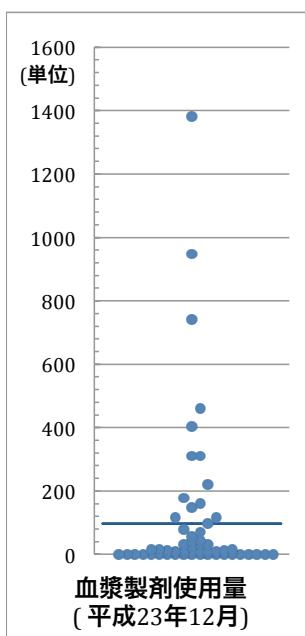
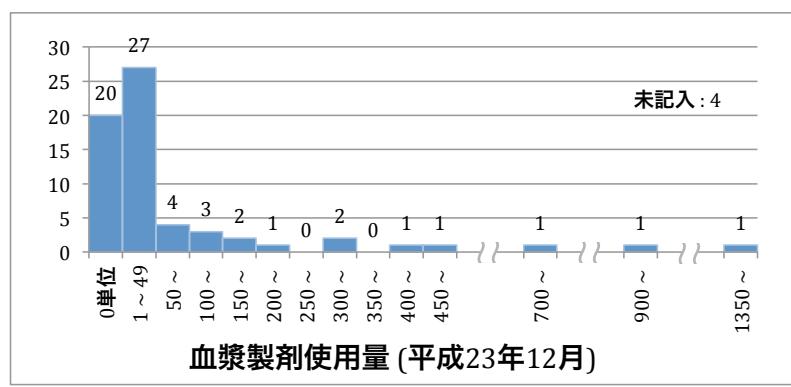
平均使用量(単位/人)	中央値
26.2 ± 22.2	20.0 [10.0 - 29.9]



5-b-3. 血漿製剤(使用量)

使用量	度数	割合
0単位	20	29.4%
1 ~ 9	12	17.6%
10 ~ 49	15	22.1%
50 ~ 99	4	5.9%
100 ~ 499	10	14.7%
500 ~	3	4.4%
未記入	4	5.9%
合計	68	100.0%

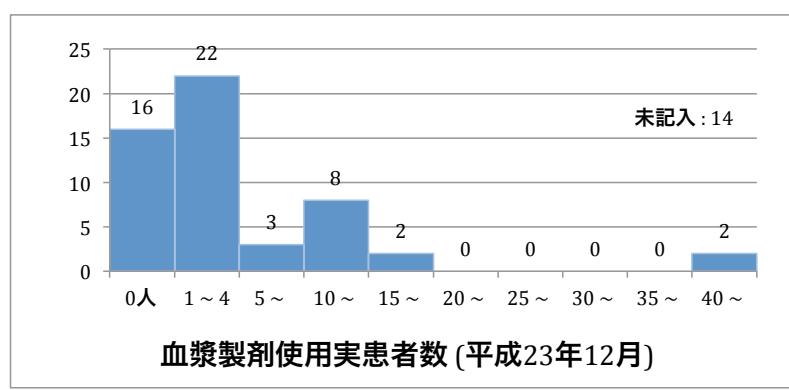
平均使用量(単位)	中央値
96.4 ± 236.1	9.5 [0.0 - 66.5]



血漿製剤(実患者数)

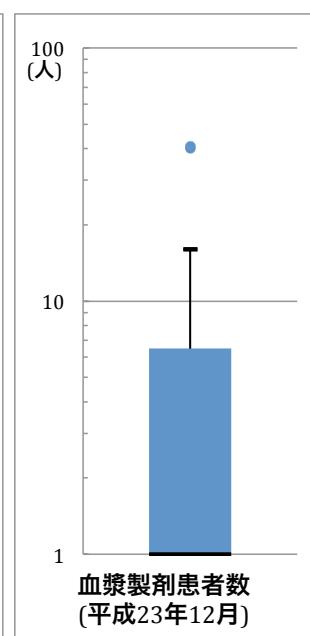
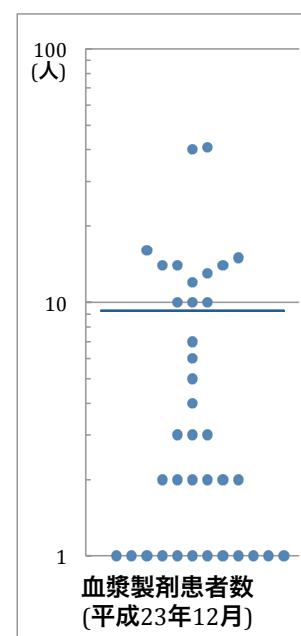
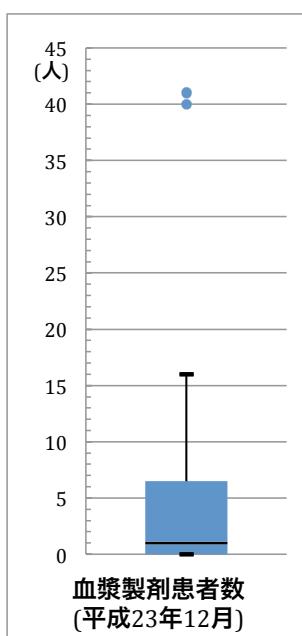
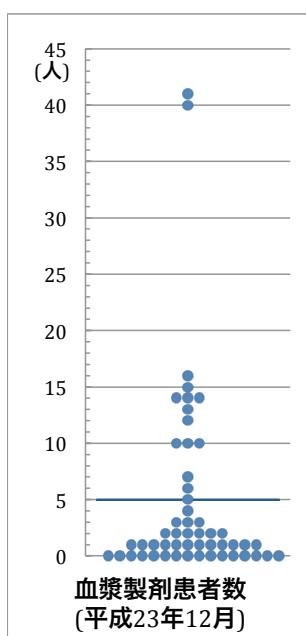
実患者数	度数	割合
0人	16	23.5%
1-4	22	32.4%
5-10	3	4.4%
10-19	10	14.7%
20-	2	2.9%
その他	1	1.5%
未記入	14	20.6%
合計	68	100.0%

N=68



平均実患者数

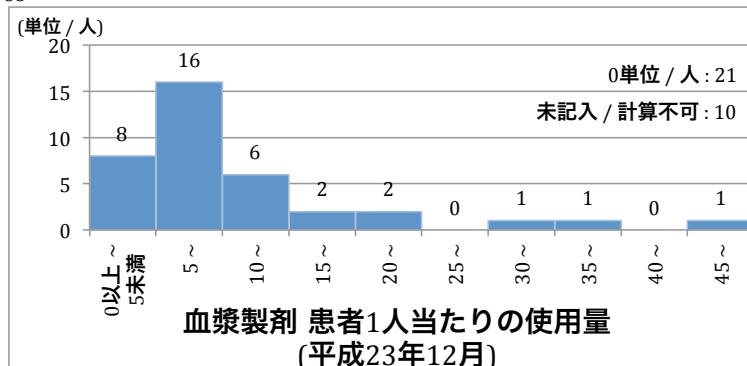
平均実患者数	中央値
5.0 ± 8.6	1.0 [0.0 - 6.5]



血漿製剤(患者1人当たりの使用量)

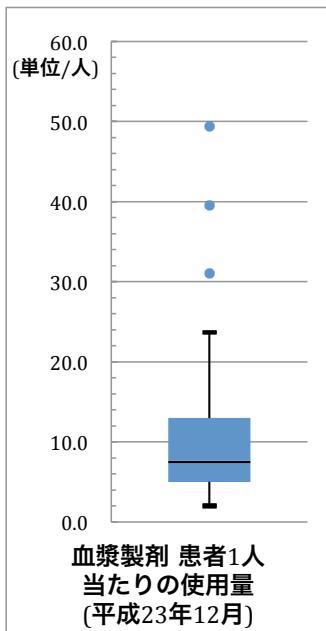
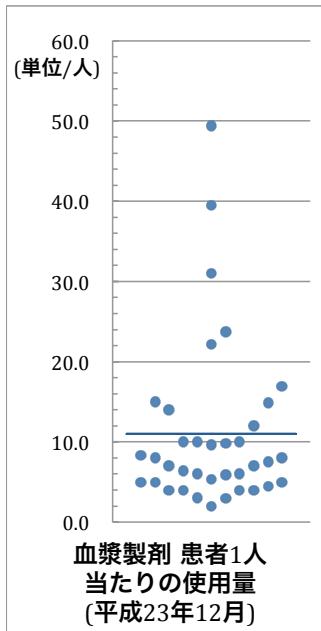
実患者数	度数	割合
0単位/人	21	30.9%
0以上～5未満	8	11.8%
5～	16	23.5%
10～	6	8.8%
15～	2	2.9%
20～	2	2.9%
25～	0	0.0%
30～	1	1.5%
35～	1	1.5%
40～	0	0.0%
45～	1	1.5%
未記入/計算不可	10	14.7%
合計	68	100.0%

N=68



N=37

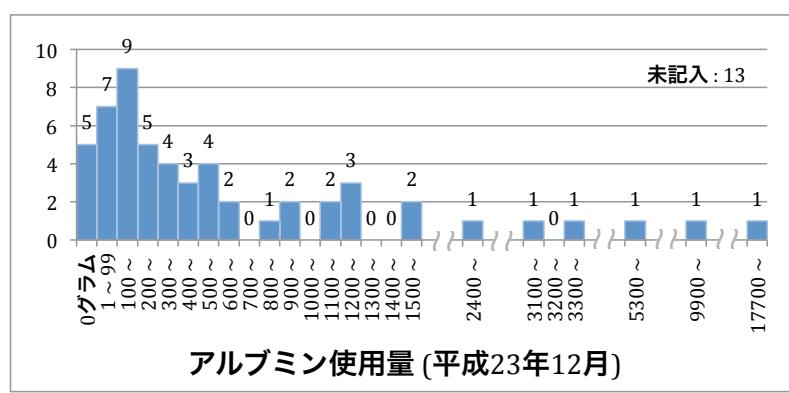
平均使用量(単位/人)	中央値
11.0 ± 10.3	7.5 [5.0 - 13.0]



5-b-4. アルブミン (使用量)

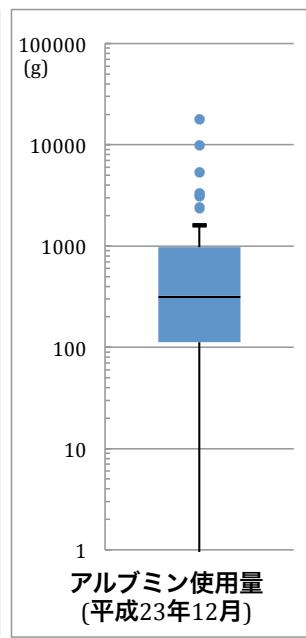
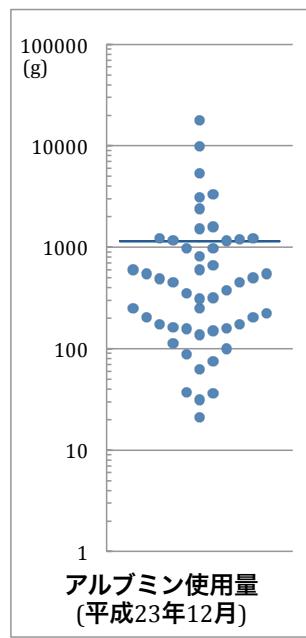
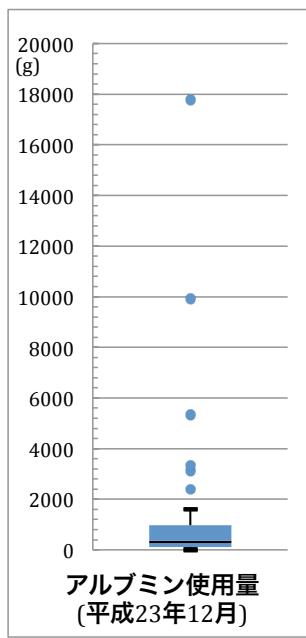
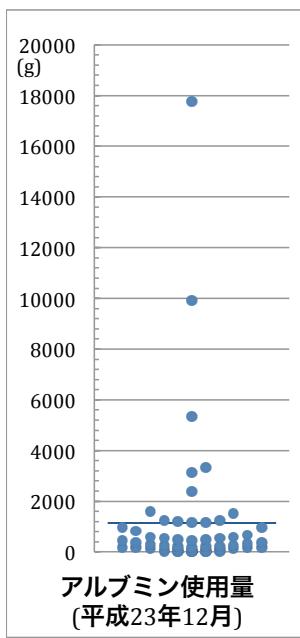
使用量	度数	割合
0グラム	5	7.4%
1 ~ 99	7	10.3%
100 ~ 499	21	30.9%
500 ~ 999	9	13.2%
1000 ~ 4999	10	14.7%
5000 ~	3	4.4%
未記入	13	19.1%
合計	68	100.0%

N=68



N=55

平均使用量(グラム)	中央値
1140.9 ± 2776.2	315.0 [112.5 - 975.0]

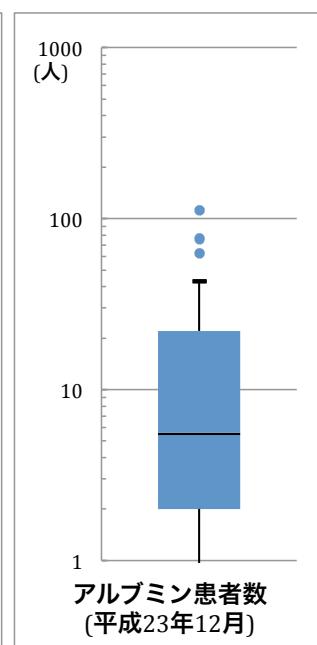
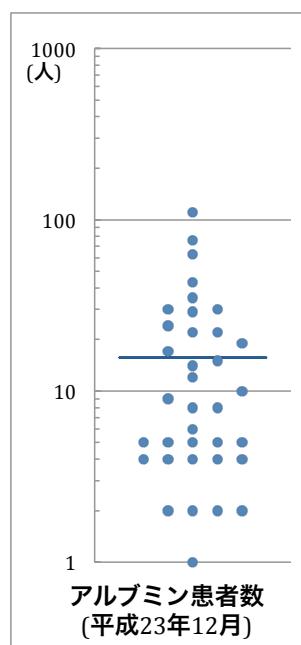
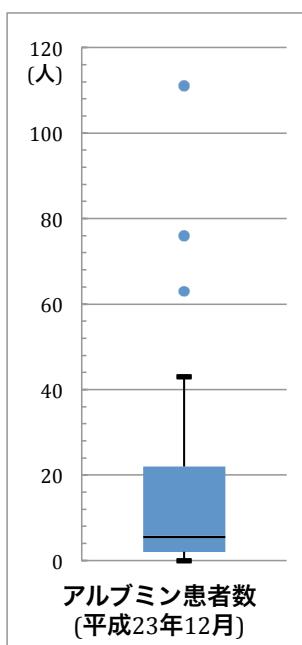
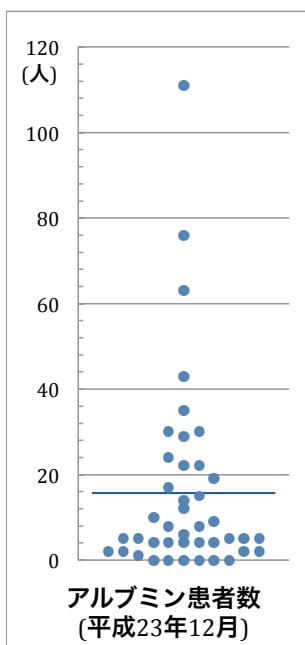
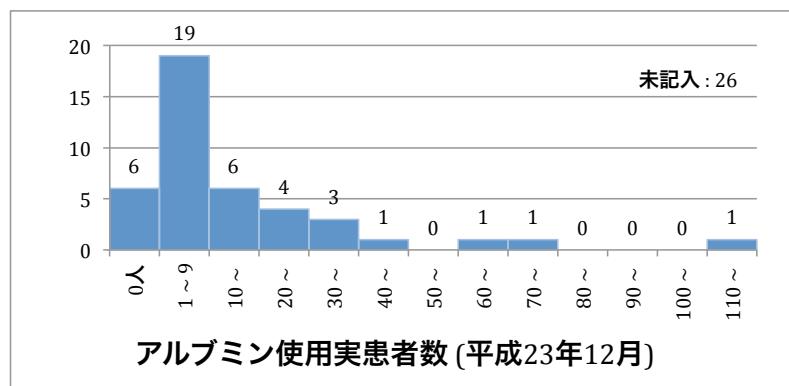


アルブミン(実患者数)

実患者数	度数	割合
0人	6	8.8%
1-4	10	14.7%
5-10	9	13.2%
10-19	6	8.8%
20-	11	16.2%
未記入	26	38.2%
合計	68	100.0%

N=68

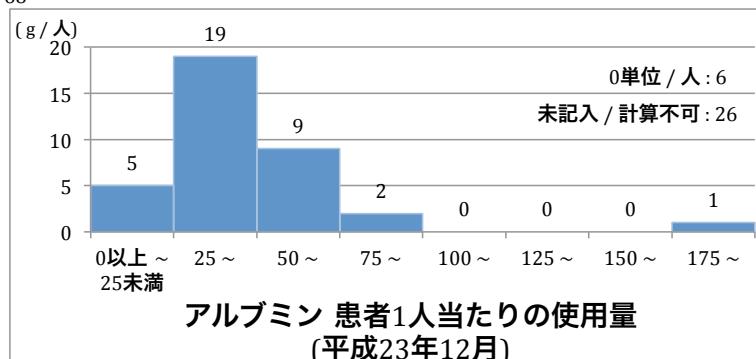
平均実患者数	中央値
15.6 ± 22.5	5.5 [2.0 - 22.0]



アルブミン(患者1人当たりの使用量)

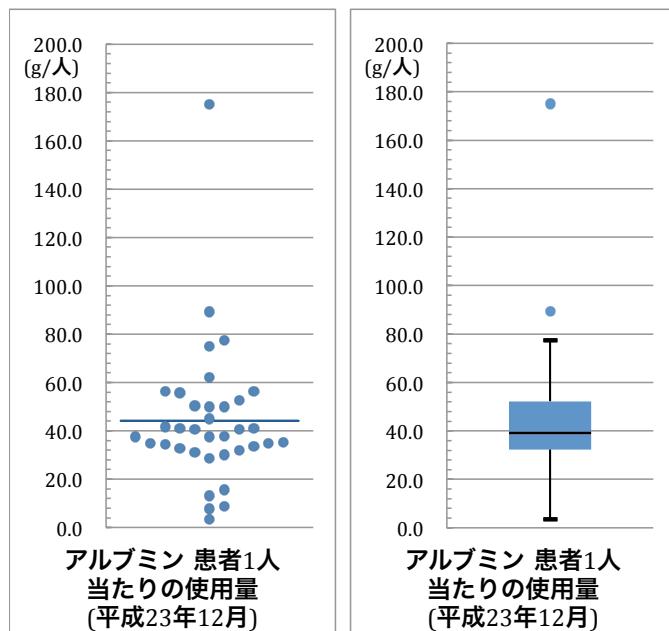
実患者数	度数	割合
0グラム/人	6	8.8%
0以上～25未満	5	7.4%
25～	19	27.9%
50～	9	13.2%
75～	2	2.9%
100～	0	0.0%
125～	0	0.0%
150～	0	0.0%
175～	1	1.5%
未記入/計算不可	26	38.2%
合計	68	100.0%

N=68



N=36

平均使用量(グラム/人)	中央値
44.1 ± 29.1	39.2 [32.3 - 52.1]



5-c. 平成23年(又は平成23年度)に輸血用血液製剤を廃棄処分したか

水準	度数	割合
1. いいえ	14	20.6%
2. はい	54	79.4%
未記入	0	0.0%
合計	68	100.0%

以下[5-cで「2. はい」(N=52)]の回答

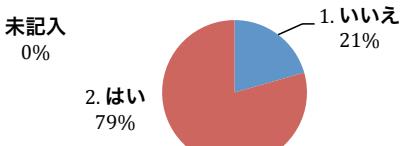
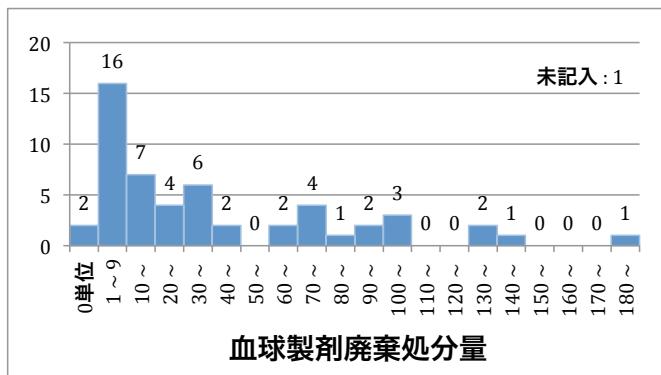
廃棄処分量

1. 血球製剤

廃棄処分量	度数	割合
0単位	2	3.7%
1 ~ 9	16	29.6%
10 ~ 49	19	35.2%
50 ~ 99	9	16.7%
100 ~	7	13.0%
未記入	1	1.9%
合計	54	100.0%

N=54

平均廃棄処分量	中央値
40.2 ± 45.0	20.0 [6.0 - 72.0]



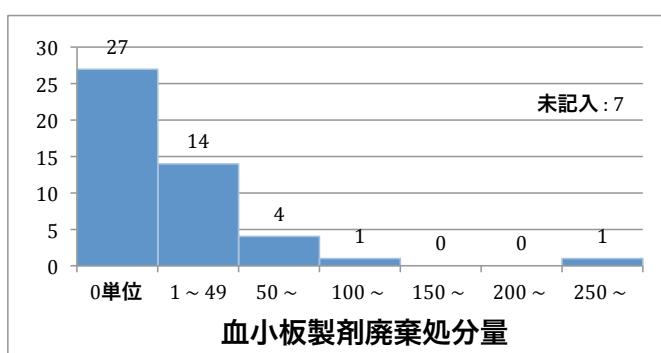
輸血用血液製剤を廃棄処分したか

2. 血小板製剤

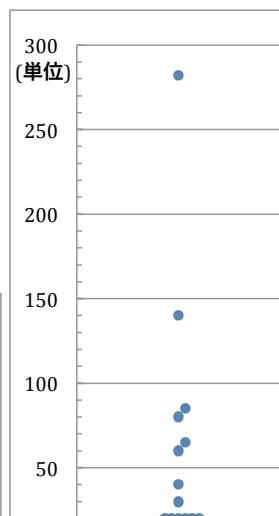
廃棄処分量	度数	割合
0単位	27	50.0%
1 ~ 50	14	25.9%
50 ~ 99	4	7.4%
100 ~	2	3.7%
未記入	7	13.0%
合計	54	100.0%

N=54

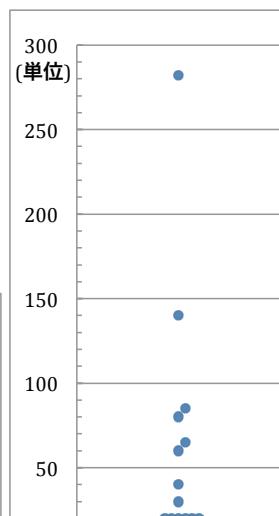
平均廃棄処分量	中央値
20.3 ± 48.2	0.0 [0.0 - 20.0]



血小板製剤廃棄処分量



血小板製剤廃棄処分量



血小板製剤廃棄処分量

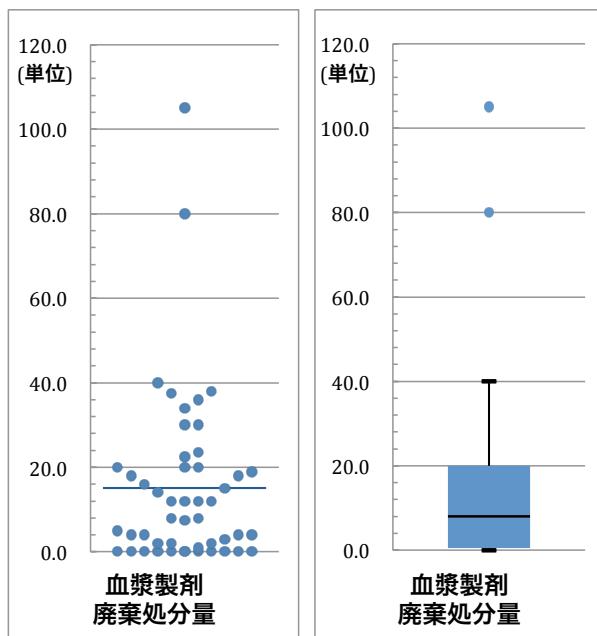
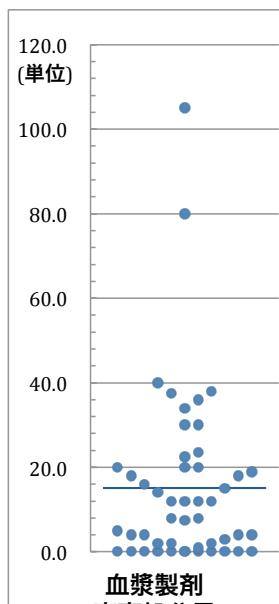
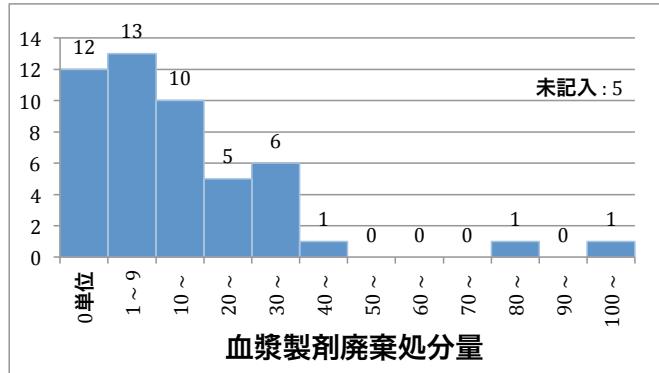
3. 血漿製剤

N=54

廃棄処分量	度数	割合
0単位	12	22.2%
1～9	13	24.1%
10～29	15	27.8%
30～	9	16.7%
未記入	5	9.3%
合計	54	100.0%

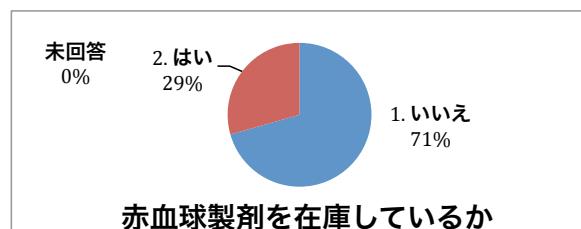
N=49

平均廃棄処分量	中央値
15.1 ± 20.3	8.0 [0.5 - 20.0]



5-d. 院内で赤血球製剤を在庫しているか N=68

水準	度数	割合
1. いいえ	48	70.6%
2. はい	20	29.4%
未回答	0	0.0%
合計	68	100.0%



以下[5-dで「2. はい」(N=20)]の回答

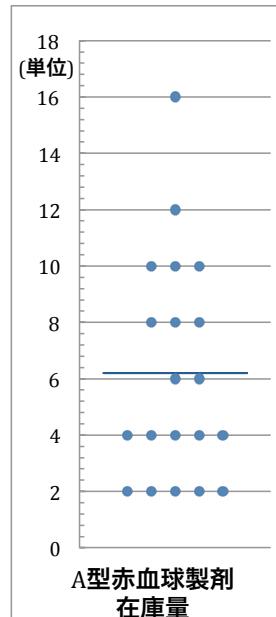
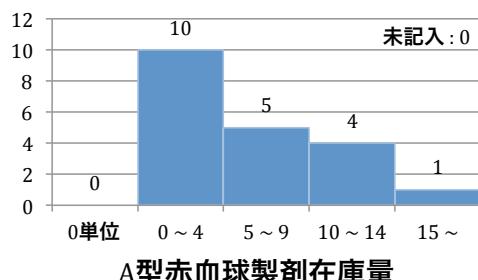
赤血球製剤在庫量

1. A型 N=20

在庫量	度数	割合
0単位	0	0.0%
1～4	10	50.0%
5～9	5	25.0%
10～	5	25.0%
未記入	0	0.0%
合計	20	100.0%

平均在庫量 N=20

平均在庫量	中央値
6.2 ± 3.9	5.0 [2.5 - 9.5]

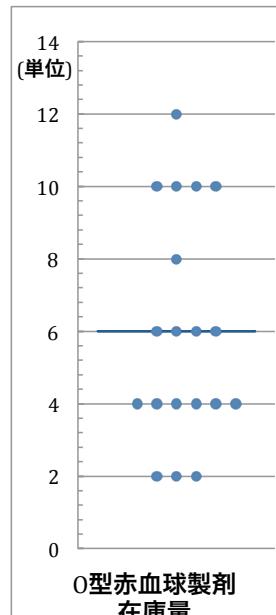
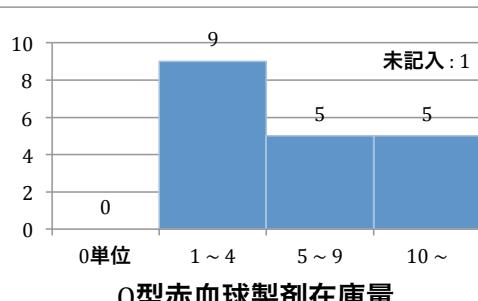


2. O型 N=20

在庫量	度数	割合
0単位	0	0.0%
1～4	9	45.0%
5～9	5	25.0%
10～	5	25.0%
未記入	1	5.0%
合計	20	100.0%

平均在庫量 N=19

平均在庫量	中央値
6.0 ± 3.1	6.0 [4.0 - 10.0]



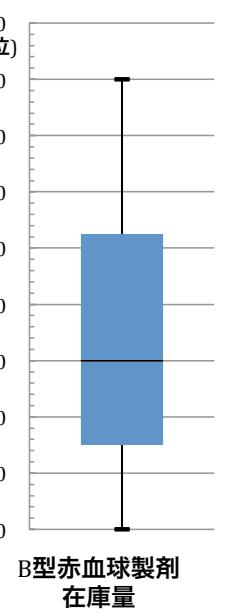
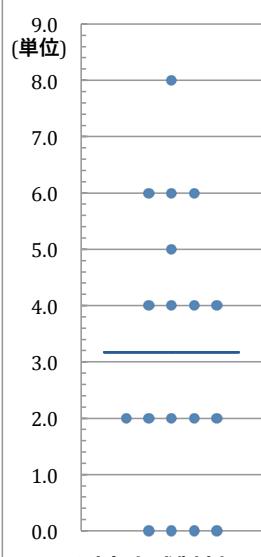
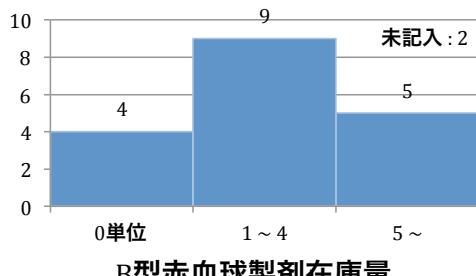
3. B型

N=20

在庫量	度数	割合
0単位	4	20.0%
1 ~ 4	9	45.0%
5 ~	5	25.0%
未記入	2	10.0%
合計	20	100.0%

N=18

平均在庫量	中央値
3.2 ± 2.4	$3.0 [1.5 - 5.3]$



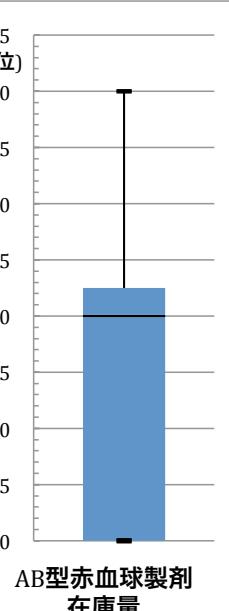
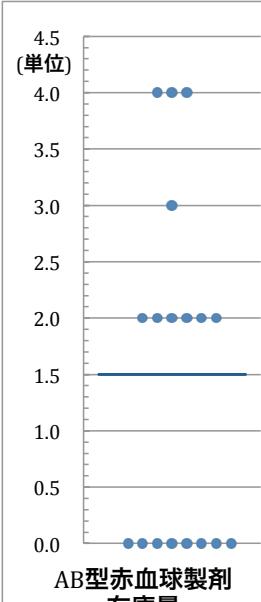
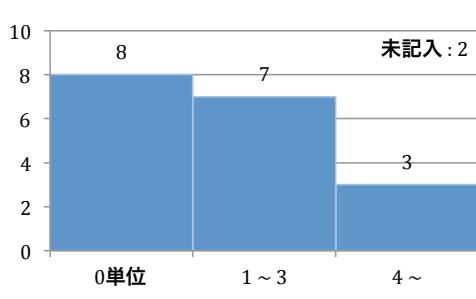
4. AB型

N=20

在庫量	度数	割合
0単位	8	40.0%
1~3	7	35.0%
4~	3	15.0%
未記入	2	10.0%
合計	20	100.0%

N=18

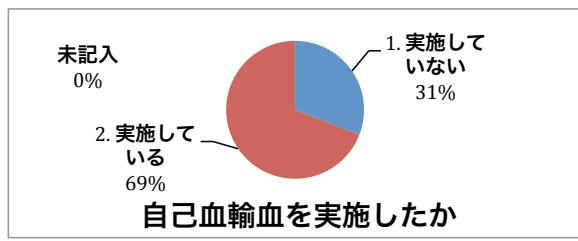
平均在庫量	中央値
1.5 ± 1.5	$2.0 [0.0 - 2.3]$



5-e. 平成23年度以降、現在までに自己血輸血を実施したか

水準	度数	割合
1. 実施していない	21	30.9%
2. 実施している	47	69.1%
未記入	0	0.0%
合計	68	100.0%

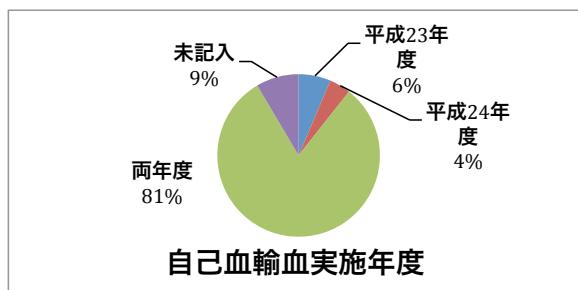
N=68



以下[5-e]で「2. 実施している」(N=47)の回答

実施年度	度数	割合
平成23年度	3	6.4%
平成24年度	2	4.3%
両年度	38	80.9%
未記入	4	8.5%
合計	47	100.0%

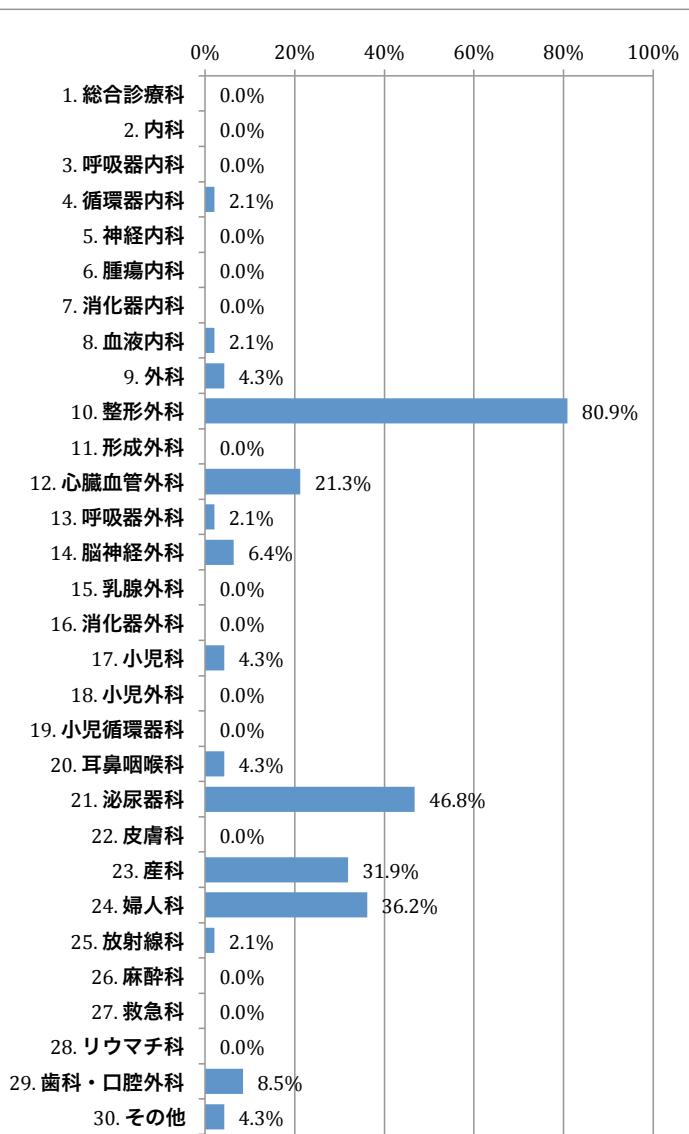
N=47



5-e-1. 自己血輸血を実施している診療科名(複数回答)

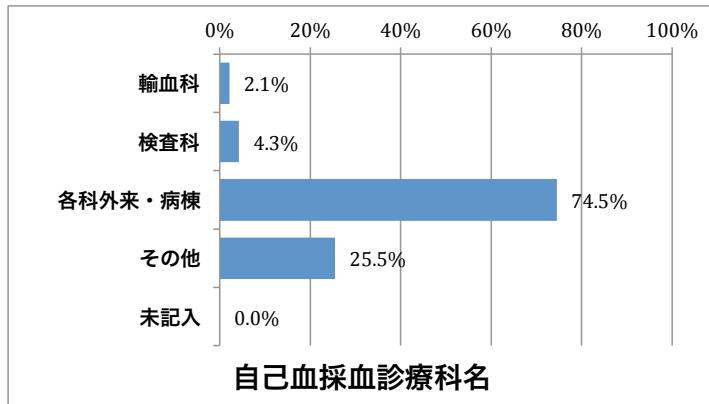
水準	度数	N=47に占める割合
1. 総合診療科	0	0.0%
2. 内科	0	0.0%
3. 呼吸器内科	0	0.0%
4. 循環器内科	1	2.1%
5. 神経内科	0	0.0%
6. 腫瘍内科	0	0.0%
7. 消化器内科	0	0.0%
8. 血液内科	1	2.1%
9. 外科	2	4.3%
10. 整形外科	38	80.9%
11. 形成外科	0	0.0%
12. 心臓血管外科	10	21.3%
13. 呼吸器外科	1	2.1%
14. 脳神経外科	3	6.4%
15. 乳腺外科	0	0.0%
16. 消化器外科	0	0.0%
17. 小児科	2	4.3%
18. 小児外科	0	0.0%
19. 小児循環器科	0	0.0%
20. 耳鼻咽喉科	2	4.3%
21. 泌尿器科	22	46.8%
22. 皮膚科	0	0.0%
23. 産科	15	31.9%
24. 婦人科	17	36.2%
25. 放射線科	1	2.1%
26. 麻酔科	0	0.0%
27. 救急科	0	0.0%
28. リウマチ科	0	0.0%
29. 歯科・口腔外科	4	8.5%
30. その他	2	4.3%
未記入	0	0.0%

N=47



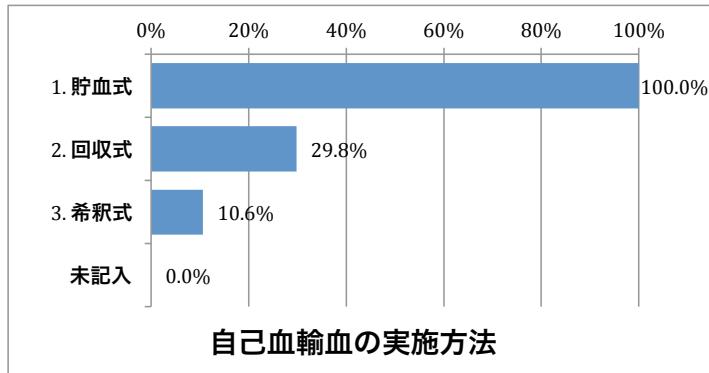
5-e-2. 自己血を採血している診療科名(部門名) (複数回答)

水準	度数	N=47に占める割合
輸血科	1	2.1%
検査科	2	4.3%
各科外来・病棟	35	74.5%
その他	12	25.5%
未記入	0	0.0%



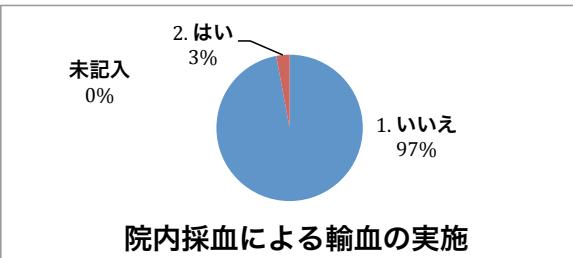
5-d-3. 自己血輸血の実施方法 (複数回答)

水準	度数	N=47に占める割合
1. 貯血式	47	100.0%
2. 回収式	14	29.8%
3. 希釈式	5	10.6%
未記入	0	0.0%



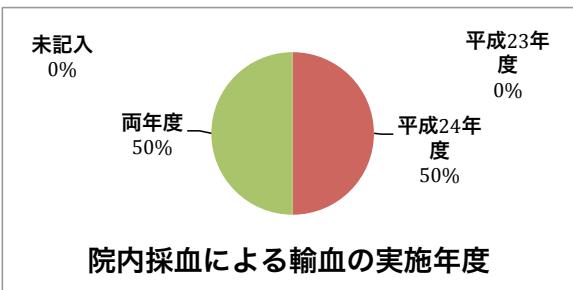
5-f. 平成23年度以降、現在までに自己血を除く院内採血による輸血を実施したか

水準	度数	割合
1. いいえ	66	97.1%
2. はい	2	2.9%
未記入	0	0.0%
合計	68	100.0%



以下[5-f]で「2. はい」(N=2)の回答

実施年度		
水準	度数	割合
平成23年度	0	0.0%
平成24年度	1	50.0%
両年度	1	50.0%
未記入	0	0.0%
合計	2	100.0%



5-f-1. 院内採血を実施している診療科名 (複数回答)

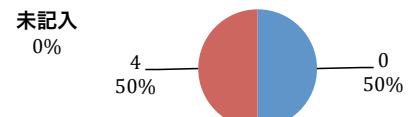
水準	度数	N=2に占める割合
1. 総合診療科	0	0.0%
2. 内科	0	0.0%
3. 呼吸器内科	0	0.0%
4. 循環器内科	0	0.0%
5. 神経内科	0	0.0%
6. 腫瘍内科	0	0.0%
7. 消化器内科	0	0.0%
8. 血液内科	1	50.0%
9. 外科	0	0.0%
10. 整形外科	0	0.0%
11. 形成外科	0	0.0%
12. 心臓血管外科	1	50.0%
13. 呼吸器外科	0	0.0%
14. 脳神経外科	0	0.0%
15. 乳腺外科	0	0.0%
16. 消化器外科	0	0.0%
17. 小児科	0	0.0%
18. 小児外科	0	0.0%
19. 小児循環器科	0	0.0%
20. 耳鼻咽喉科	0	0.0%
21. 泌尿器科	1	50.0%
22. 皮膚科	0	0.0%
23. 産科	0	0.0%
24. 婦人科	0	0.0%
25. 放射線科	0	0.0%
26. 麻酔科	0	0.0%
27. 救急科	1	50.0%
28. リウマチ科	0	0.0%
29. 歯科・口腔外科	0	0.0%
30. その他	0	0.0%
未記入	0	0.0%



院内採血実施診療科名

5-f-2. 平成23年(平成23年度)実施回数

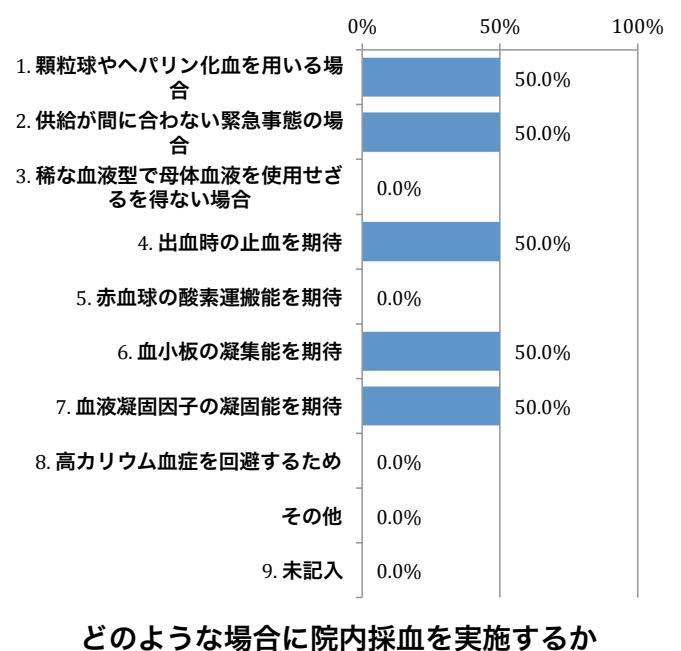
水準	度数	割合
0	1	50.0%
4	1	50.0%
未記入	0	0.0%
合計	2	100.0%



院内採血による輸血の実施回数

5-f-3. どのような場合に院内採血を実施するか (複数回答)

水準	度数	N=2に占める割合
1. 顆粒球やヘパリン化血を用いる場合	1	50.0%
2. 供給が間に合わない緊急事態の場合	1	50.0%
3. 稀な血液型で母体血液を使用せざるを得ない場合	0	0.0%
4. 出血時の止血を期待	1	50.0%
5. 赤血球の酸素運搬能を期待	0	0.0%
6. 血小板の凝集能を期待	1	50.0%
7. 血液凝固因子の凝固能を期待	1	50.0%
8. 高カリウム血症を回避するため	0	0.0%
その他	0	0.0%
未記入	0	0.0%

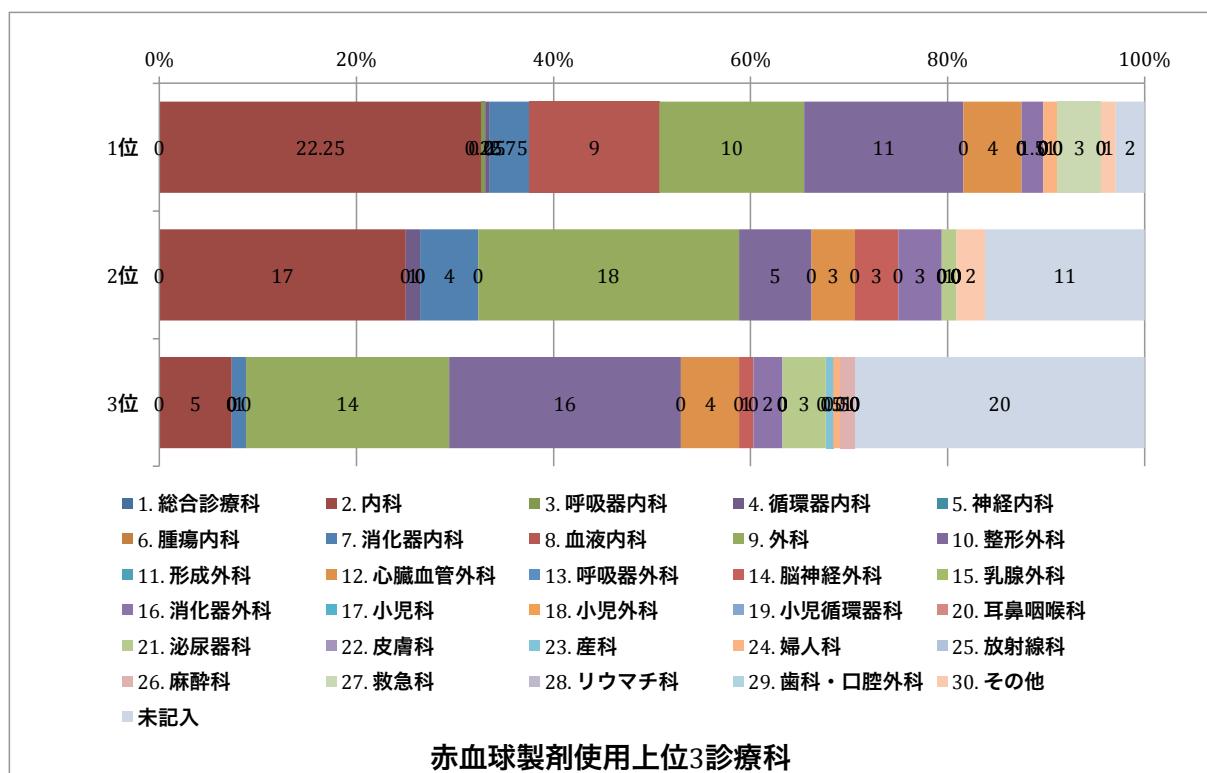
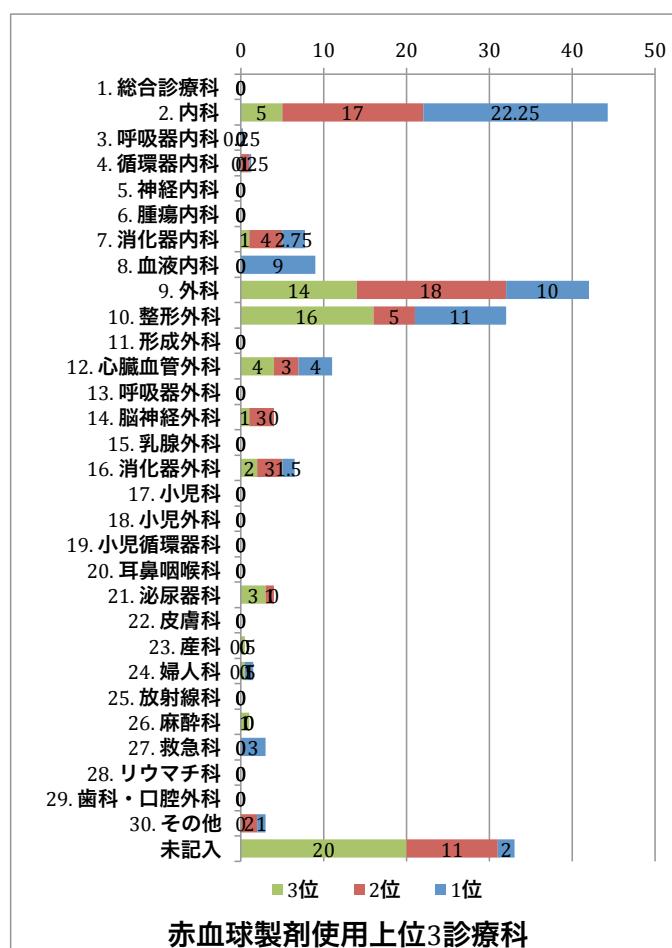


どのような場合に院内採血を実施するか

5-g. 平成23年(平成23年度)の輸血用血液製剤を使用する上位3診療科

赤血球製剤

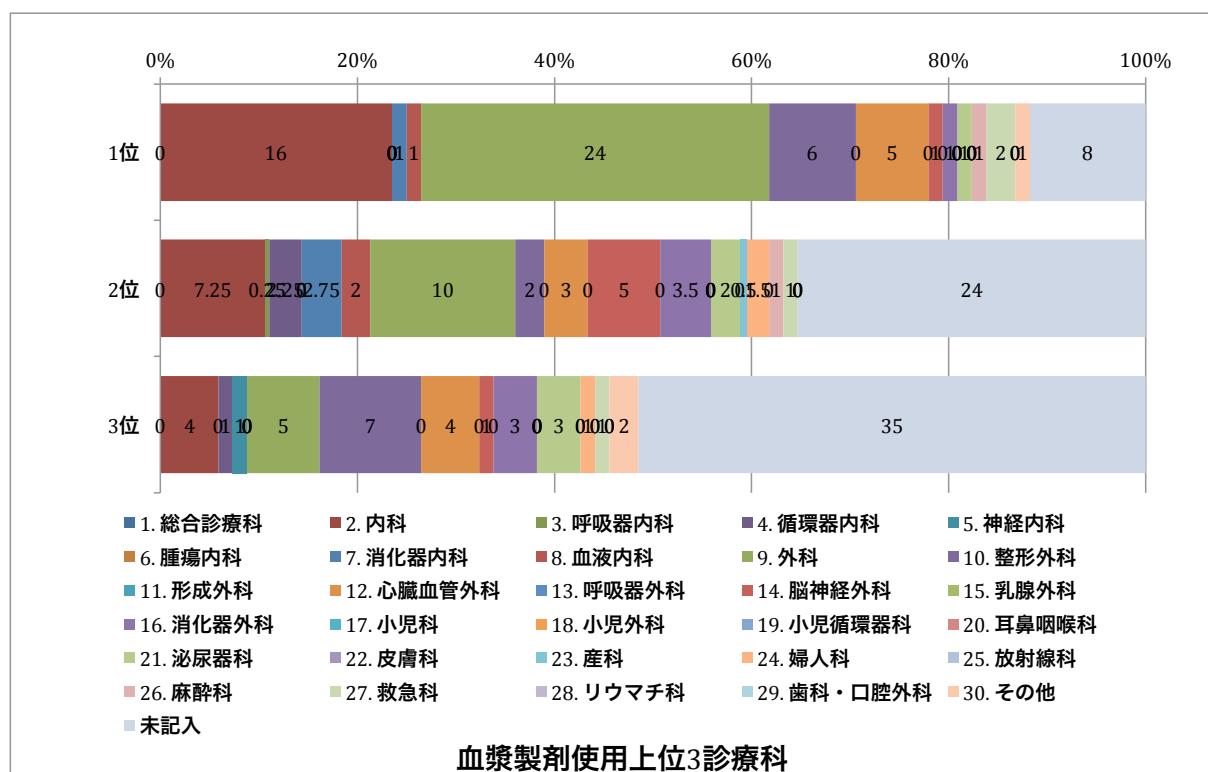
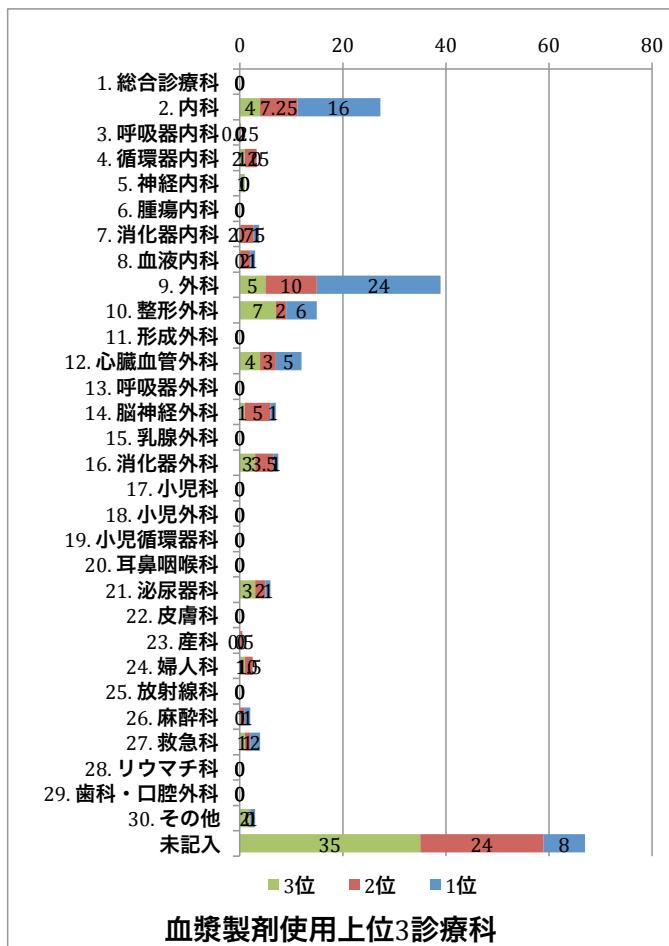
水準	1位	2位	3位
1. 総合診療科	0	0	0
2. 内科	22.25	17	5
3. 呼吸器内科	0.25	0	0
4. 循環器内科	0.25	1	0
5. 神経内科	0	0	0
6. 腫瘍内科	0	0	0
7. 消化器内科	2.75	4	1
8. 血液内科	9	0	0
9. 外科	10	18	14
10. 整形外科	11	5	16
11. 形成外科	0	0	0
12. 心臓血管外科	4	3	4
13. 呼吸器外科	0	0	0
14. 脳神経外科	0	3	1
15. 乳腺外科	0	0	0
16. 消化器外科	1.5	3	2
17. 小児科	0	0	0
18. 小児外科	0	0	0
19. 小児循環器科	0	0	0
20. 耳鼻咽喉科	0	0	0
21. 泌尿器科	0	1	3
22. 皮膚科	0	0	0
23. 産科	0	0	0.5
24. 婦人科	1	0	0.5
25. 放射線科	0	0	0
26. 麻酔科	0	0	1
27. 救急科	3	0	0
28. リウマチ科	0	0	0
29. 歯科・口腔外科	0	0	0
30. その他	1	2	0
未記入	2	11	20
合計	68	68	68



血漿製剤

N=68

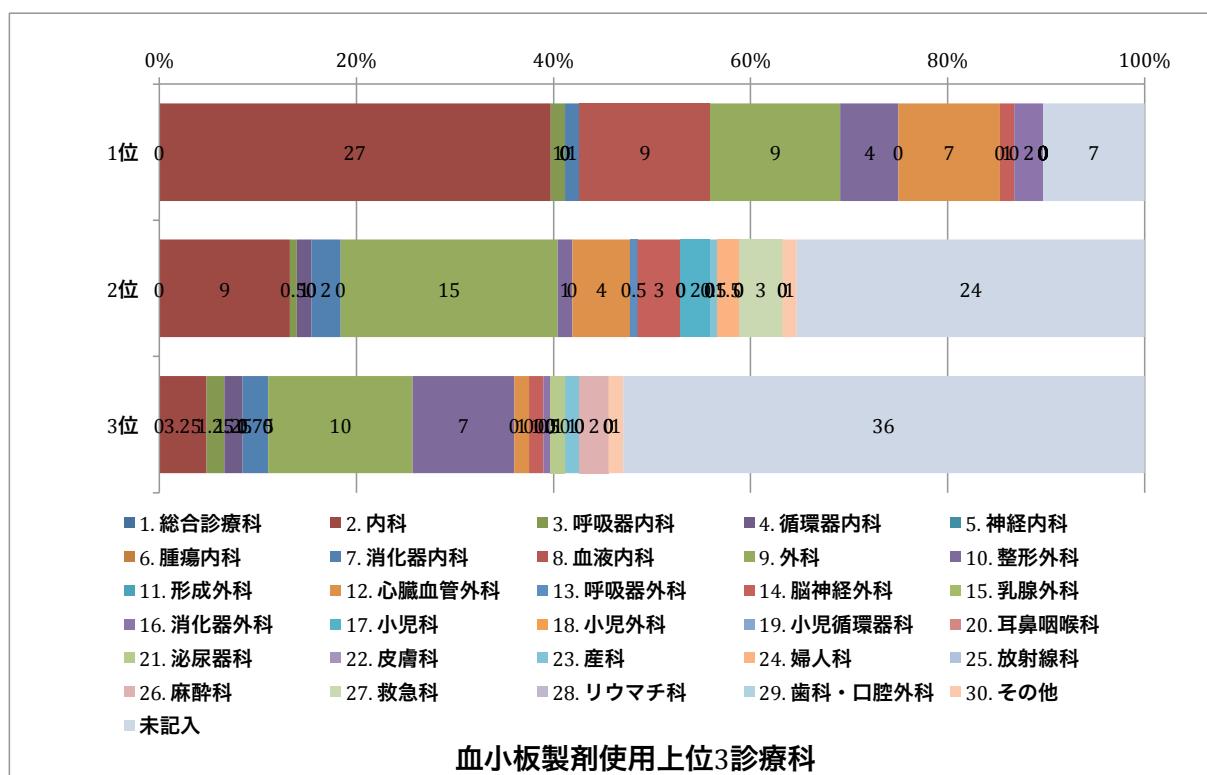
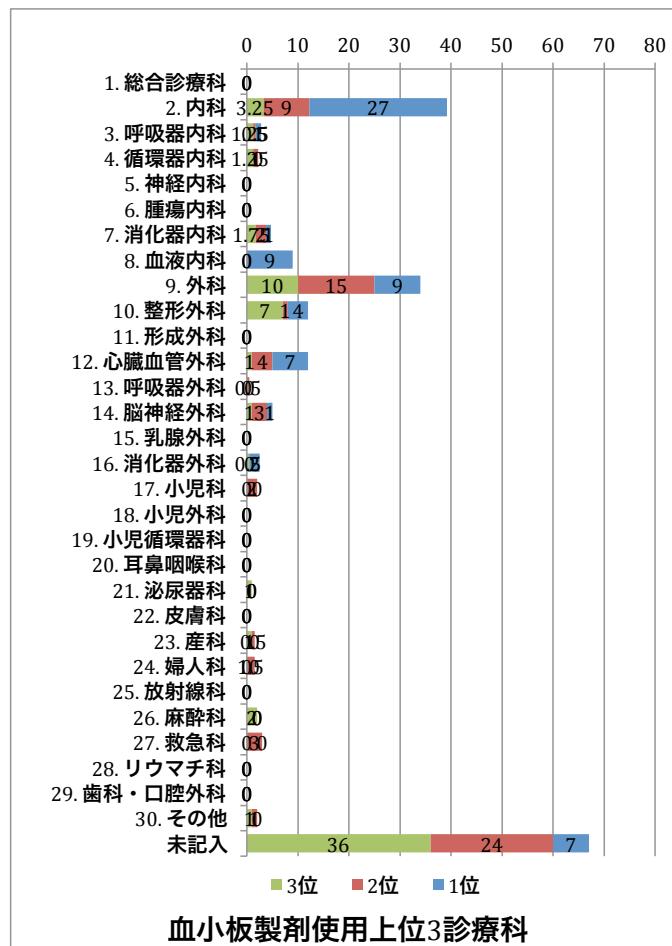
水準	1位	2位	3位
1. 総合診療科	0	0	0
2. 内科	16	7.25	4
3. 呼吸器内科	0	0.25	0
4. 循環器内科	0	2.25	1
5. 神経内科	0	0	1
6. 腫瘍内科	0	0	0
7. 消化器内科	1	2.75	0
8. 血液内科	1	2	0
9. 外科	24	10	5
10. 整形外科	6	2	7
11. 形成外科	0	0	0
12. 心臓血管外科	5	3	4
13. 呼吸器外科	0	0	0
14. 脳神経外科	1	5	1
15. 乳腺外科	0	0	0
16. 消化器外科	1	3.5	3
17. 小兒科	0	0	0
18. 小兒外科	0	0	0
19. 小兒循環器科	0	0	0
20. 耳鼻咽喉科	0	0	0
21. 泌尿器科	1	2	3
22. 皮膚科	0	0	0
23. 産科	0	0.5	0
24. 婦人科	0	1.5	1
25. 放射線科	0	0	0
26. 麻酔科	1	1	0
27. 救急科	2	1	1
28. リウマチ科	0	0	0
29. 歯科・口腔外科	0	0	0
30. その他	1	0	2
未記入	8	24	35
合計	68	68	68



血小板製剤

N=68

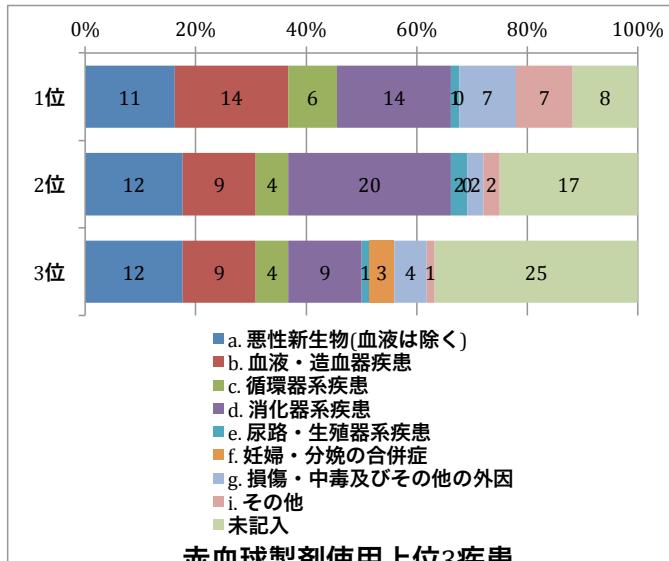
水準	1位	2位	3位
1. 総合診療科	0	0	0
2. 内科	27	9	3.25
3. 呼吸器内科	1	0.5	1.25
4. 循環器内科	0	1	1.25
5. 神経内科	0	0	0
6. 腫瘍内科	0	0	0
7. 消化器内科	1	2	1.75
8. 血液内科	9	0	0
9. 外科	9	15	10
10. 整形外科	4	1	7
11. 形成外科	0	0	0
12. 心臓血管外科	7	4	1
13. 呼吸器外科	0	0.5	0
14. 脳神経外科	1	3	1
15. 乳腺外科	0	0	0
16. 消化器外科	2	0	0.5
17. 小兒科	0	2	0
18. 小兒外科	0	0	0
19. 小兒循環器科	0	0	0
20. 耳鼻咽喉科	0	0	0
21. 泌尿器科	0	0	1
22. 皮膚科	0	0	0
23. 産科	0	0.5	1
24. 婦人科	0	1.5	0
25. 放射線科	0	0	0
26. 麻酔科	0	0	2
27. 救急科	0	3	0
28. リウマチ科	0	0	0
29. 歯科・口腔外科	0	0	0
30. その他	0	1	1
未記入	7	24	36
合計	68	68	68



5-h. 平成23年(平成23年度)の輸血用血液製剤を使用する上位3疾患

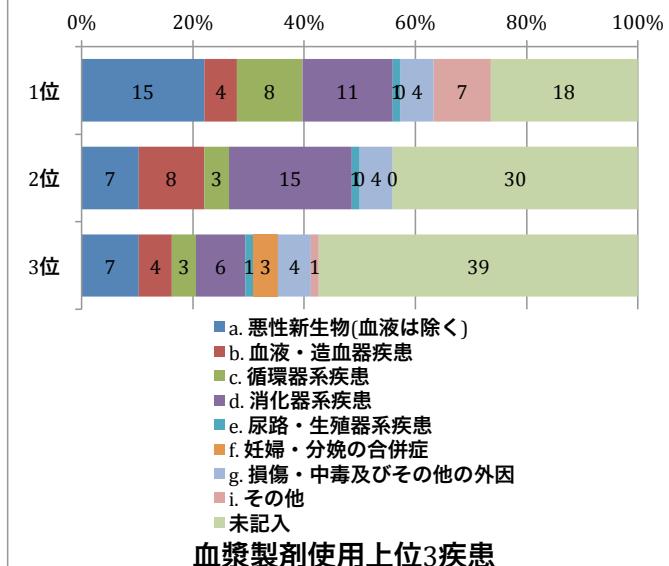
赤血球製剤 N=68

水準	1位	2位	3位
a. 悪性新生物(血液は除く)	11	12	12
b. 血液・造血器疾患	14	9	9
c. 循環器系疾患	6	4	4
d. 消化器系疾患	14	20	9
e. 尿路・生殖器系疾患	1	2	1
f. 妊婦・分娩の合併症	0	0	3
g. 損傷・中毒及びその他の外因	7	2	4
i. その他	7	2	1
未記入	8	17	25
合計	68	68	68



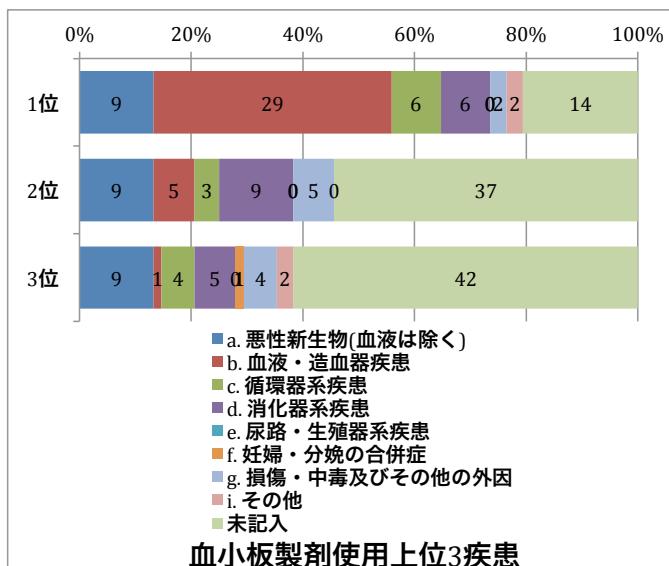
血漿製剤 N=68

水準	1位	2位	3位
a. 悪性新生物(血液は除く)	15	7	7
b. 血液・造血器疾患	4	8	4
c. 循環器系疾患	8	3	3
d. 消化器系疾患	11	15	6
e. 尿路・生殖器系疾患	1	1	1
f. 妊婦・分娩の合併症	0	0	3
g. 損傷・中毒及びその他の外因	4	4	4
i. その他	7	0	1
未記入	18	30	39
合計	68	68	68



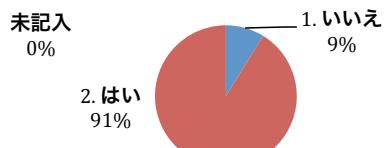
血小板製剤 N=68

水準	1位	2位	3位
a. 悪性新生物(血液は除く)	9	9	9
b. 血液・造血器疾患	29	5	1
c. 循環器系疾患	6	3	4
d. 消化器系疾患	6	9	5
e. 尿路・生殖器系疾患	0	0	0
f. 妊婦・分娩の合併症	0	0	1
g. 損傷・中毒及びその他の外因	2	5	4
i. その他	2	0	2
未記入	14	37	42
合計	68	68	68



5-i. 血液製剤の使用に関する記録を作成・保存しているか

水準	度数	割合	N=68
1. いいえ	6	8.8%	
2. はい	62	91.2%	
未記入	0	0.0%	
合計	68	100.0%	



血液製剤使用記録の作成・保存

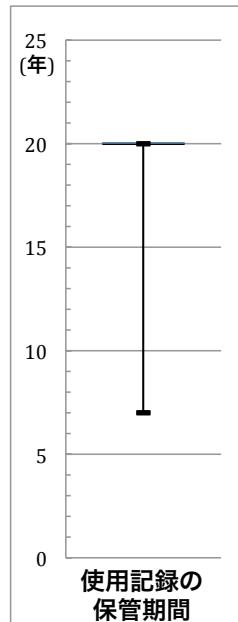
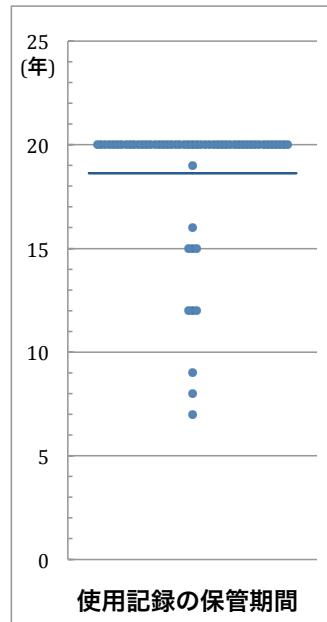
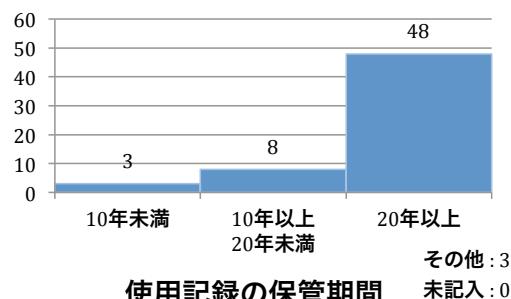
以下[5-i]で「2. はい」(N=62)の回答

使用記録の保管期間 N=62

保管期間	度数	割合	N=62
10年未満	3	4.8%	
10年以上 20年未満	8	12.9%	
20年以上	51	82.3%	
未記入	0	0.0%	
合計	62	100.0%	

N=59

平均保管期間	中央値
18.6 ± 3.3	20.0 [20.0 - 20.0]



6. 遷及調査について

6-a. 輸血実施前の患者検体を保管しているか

水準	度数	割合
1. 保管していない	13	19.1%
2. 保管している	55	80.9%
未記入	0	0.0%
合計	68	100.0%

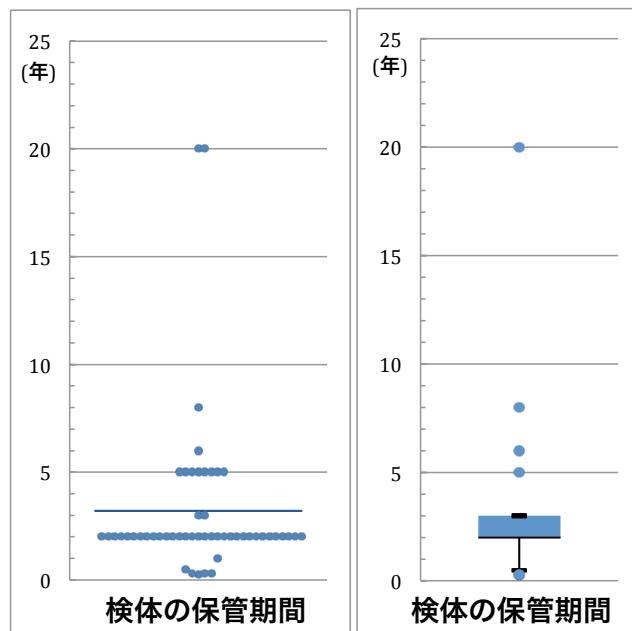
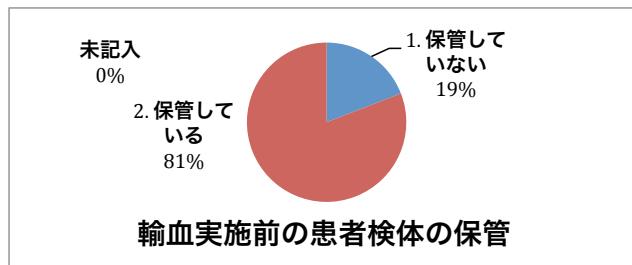
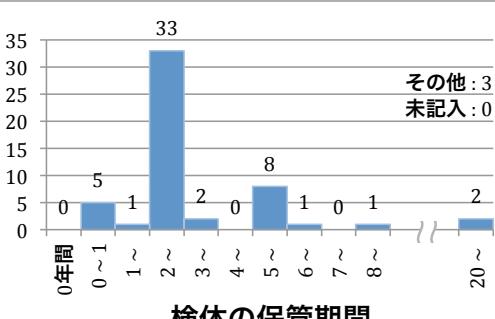
以下[6-a]で「2. 保管している」(N=55) の回答

検体の保管期間

保管期間	度数	割合
1年未満	5	9.1%
1年以上5年未満	36	65.5%
5年以上10年未満	10	18.2%
10年以上	2	3.6%
その他	2	3.6%
未記入	0	0.0%
合計	55	100.0%

N=52

平均保管期間	中央値
3.2 ± 3.7	2.0 [2.0 - 3.0]



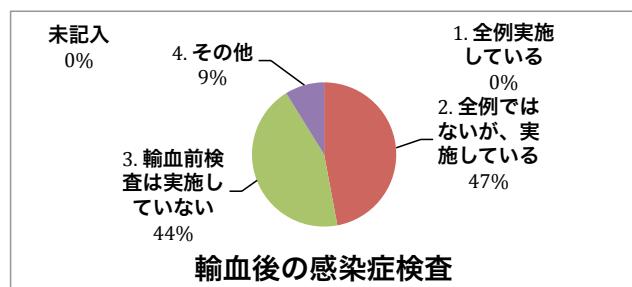
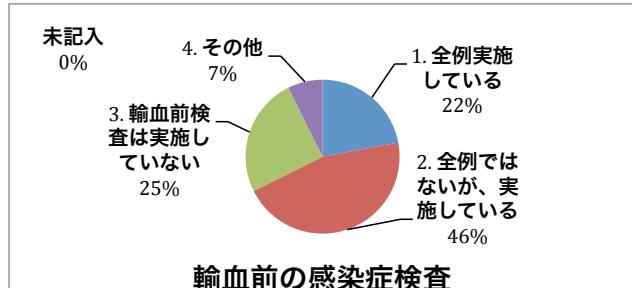
6-b. 輸血前後の感染症検査の実施

輸血前検査

水準	度数	割合
1. 全例実施している	15	22.1%
2. 全例ではないが、実施している	31	45.6%
3. 輸血前検査は実施していない	17	25.0%
4. その他	5	7.4%
未記入	0	0.0%
合計	68	100.0%

輸血後検査

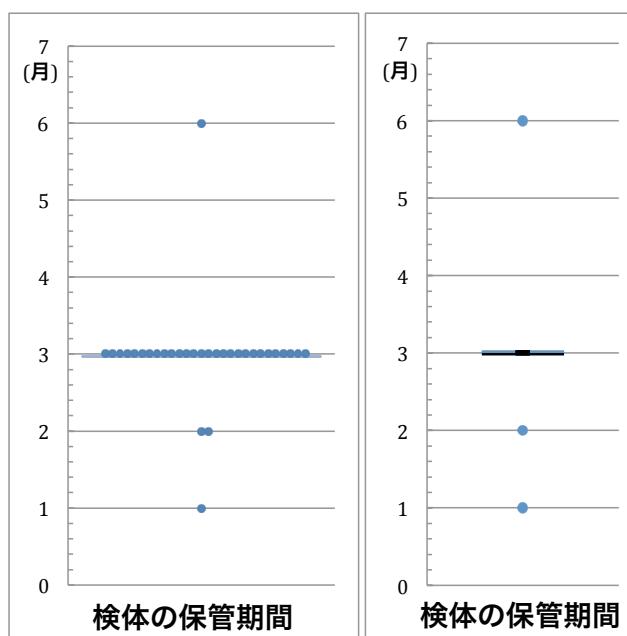
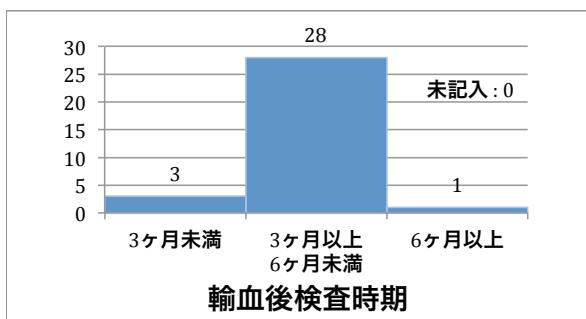
水準	度数	割合
1. 全例実施している	0	0.0%
2. 全例ではないが、実施している	32	47.1%
3. 輸血前検査は実施していない	30	44.1%
4. その他	6	8.8%
未記入	0	0.0%
合計	68	100.0%



以下[6-b. 輸血後検査で「1. 全例実施している」
もしくは「2. 全例ではないが、実施している」(N=32)]の回答

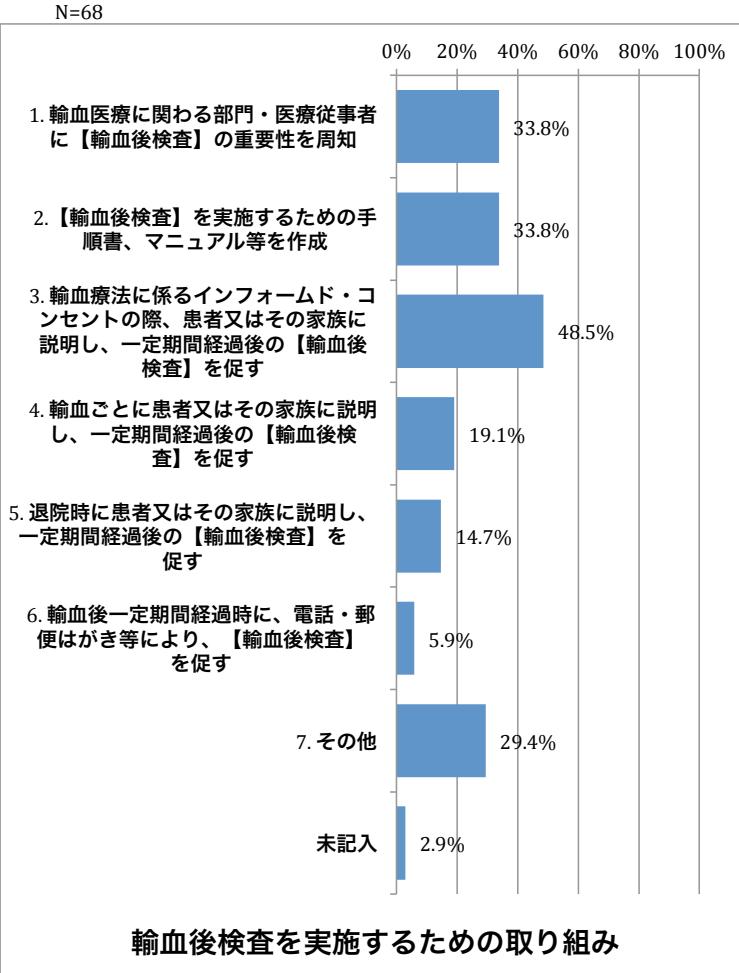
輸血後検査時期 N=32		
検査時期	度数	割合
3ヶ月未満	3	9.4%
3ヶ月以上 6ヶ月未満	28	87.5%
6ヶ月以上	1	3.1%
未記入	0	0.0%
合計	32	100.0%

N=32		
平均輸血後検査時期	中央値	
	3.0 ± 0.7	3.0 [3.0 - 3.0]



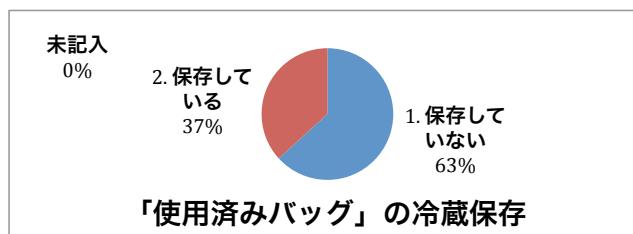
6-c. 輸血後検査を実施するための取り組み (複数回答)

水準	度数	N=68に占める割合
1. 輸血医療に関わる部門・医療従事者に【輸血後検査】の重要性を周知	23	33.8%
2. 【輸血後検査】を実施するための手順書、マニュアル等を作成	23	33.8%
3. 輸血療法に係るインフォームド・コンセントの際、患者又はその家族に説明し、一定期間経過後の【輸血後検査】を促す	33	48.5%
4. 輸血ごとに患者又はその家族に説明し、一定期間経過後の【輸血後検査】を促す	13	19.1%
5. 退院時に患者又はその家族に説明し、一定期間経過後の【輸血後検査】を促す	10	14.7%
6. 輸血後一定期間経過時に、電話・郵便はがき等により、【輸血後検査】を促す	4	5.9%
7. その他	20	29.4%
未記入	2	2.9%



6-d. 「使用済みバッグ」の冷蔵保存の実施

水準	度数	割合	N=68
1. 保存していない	43	63.2%	
2. 保存している	25	36.8%	
未記入	0	0.0%	
合計	68	100.0%	



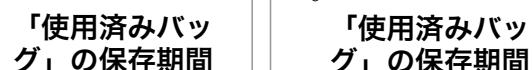
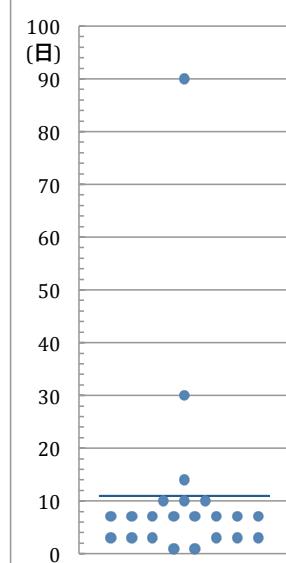
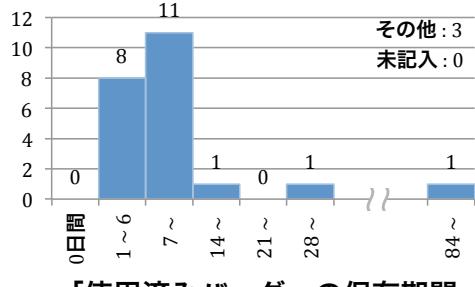
以下[6-d]で「2. 保存している」(N=25)の回答

「使用済みバッグ」の保存期間 N=25

保存期間	度数	割合
7日未満	8	32.0%
7日以上 14日未満	14	56.0%
14日以上	3	12.0%
未記入	0	0.0%
合計	25	100.0%

N=22

平均保存期間	中央値
10.9 ± 18.7	7.0 [3.0 - 10.0]



7. 緊急時の輸血について

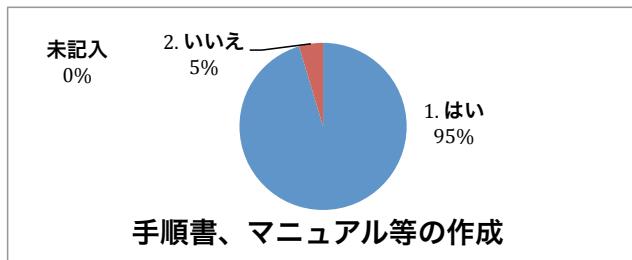
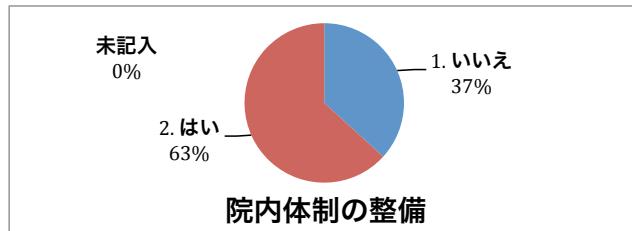
7-a. 緊急時の輸血に対応するための院内体制の整備 N=68

水準	度数	割合
1. いいえ	25	36.8%
2. はい	43	63.2%
未記入	0	0.0%
合計	68	100.0%

以下[7-aで「2. はい」(N=43)]の回答

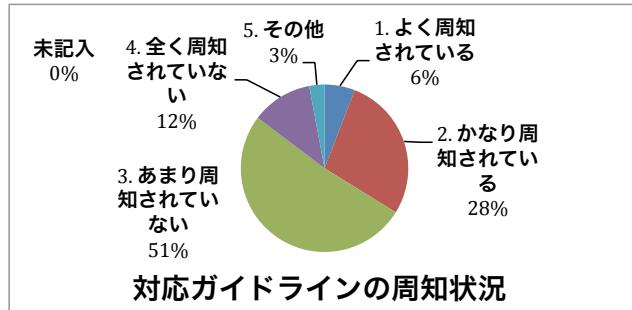
7-a-1. 手順書、マニュアル等の作成 N=43

水準	度数	割合
1. はい	41	95.3%
2. いいえ	2	4.7%
未記入	0	0.0%
合計	43	100.0%

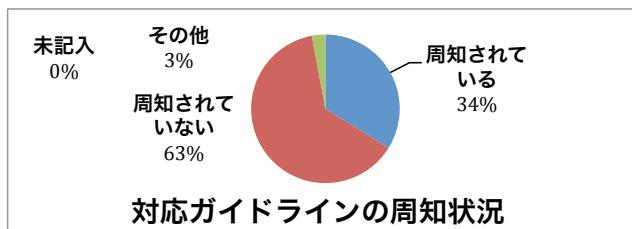


7-b. 「危機的出血への対応ガイドライン」の周知状況

水準	度数	割合
1. よく周知されている	4	5.9%
2. かなり周知されている	19	27.9%
3. あまり周知されていない	35	51.5%
4. 全く周知されていない	8	11.8%
5. その他	2	2.9%
未記入	0	0.0%
合計	68	100.0%



ガイドラインの周知状況	度数	割合
周知されている	23	33.8%
周知されていない	43	63.2%
その他	2	2.9%
未記入	0	0.0%
合計	68	100.0%



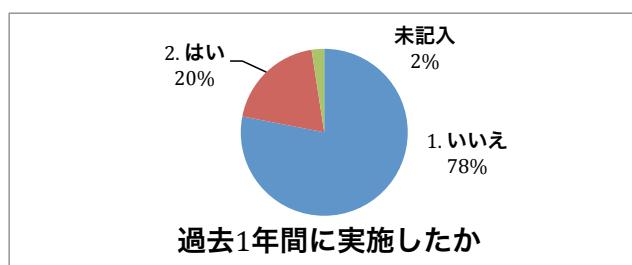
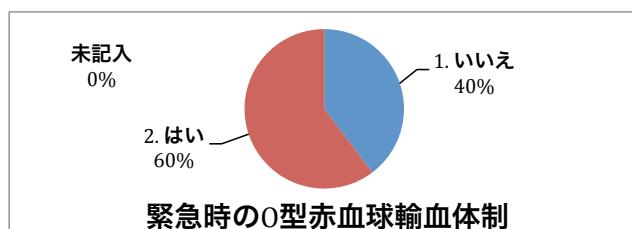
7-c. 緊急時にO型赤血球を輸血する体制となっているか

水準	度数	割合
1. いいえ	27	39.7%
2. はい	41	60.3%
未記入	0	0.0%
合計	68	100.0%

以下[7-cで「2. はい」(N=41)]の回答

過去1年間に実施したか N=41

水準	度数	割合
1. いいえ	32	78.0%
2. はい	8	19.5%
未記入	1	2.4%
合計	41	100.0%



7-d. 緊急時にO型以外の適合赤血球を輸血する体制となっているか

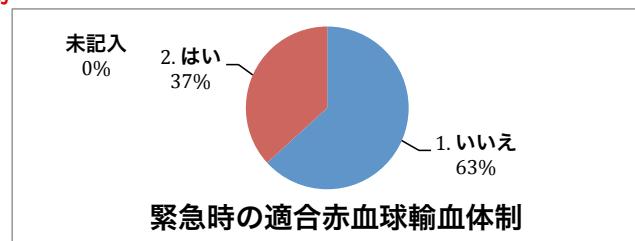
水準	度数	割合	N=68
1. いいえ	43	63.2%	
2. はい	25	36.8%	
未記入	0	0.0%	
合計	68	100.0%	

以下[7-dで「2. はい」(N=25)]の回答

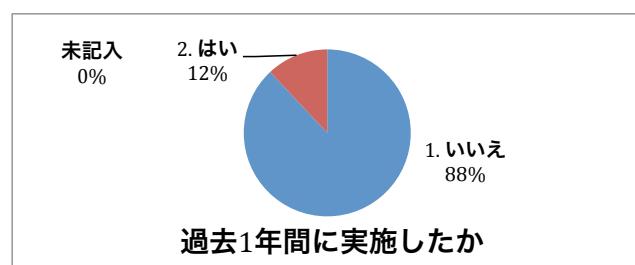
過去1年間に実施したか

N=25

水準	度数	割合
1. いいえ	22	88.0%
2. はい	3	12.0%
未記入	0	0.0%
合計	25	100.0%



緊急時の適合赤血球輸血体制

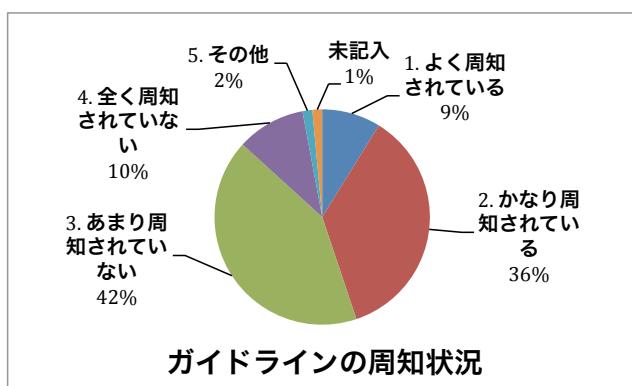


過去1年間に実施したか

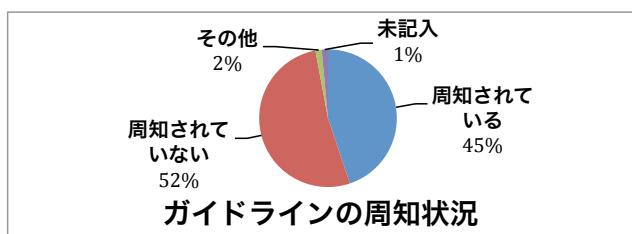
8. 宗教的輸血忌避患者への対応

8-a. 「宗教的輸血拒否に関するガイドライン」の周知状況

水準	度数	割合
1. よく周知されている	6	8.8%
2. かなり周知されている	24.5	36.0%
3. あまり周知されていない	28.5	41.9%
4. 全く周知されていない	7	10.3%
5. その他	1	1.5%
未記入	1	1.5%
合計	68	100.0%



ガイドラインの周知状況	度数	割合
周知されている	30.5	44.9%
周知されていない	35.5	52.2%
その他	1	1.5%
未記入	1	1.5%
合計	68	100.0%



8-b. 宗教的輸血忌避患者への対応についての手順書・マニュアル等の作成

水準	度数	割合
1. いいえ	33	48.5%
2. はい	35	51.5%
未記入	0	0.0%
合計	68	100.0%

